

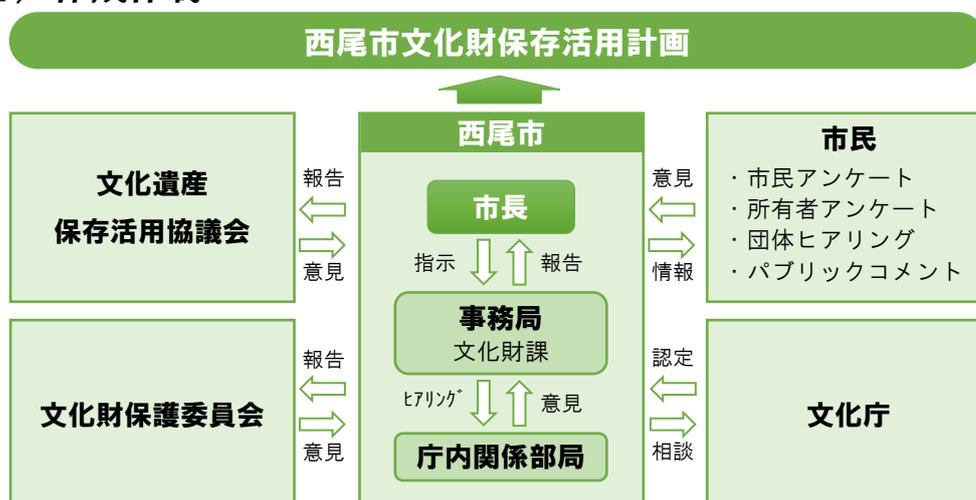
資料編

1 作成経緯・体制

(1) 作成経緯

年	月日	項目	内容
令和元年 (2019)	11月20日	市民アンケート調査、所有者アンケート調査の実施	11月20日～12月16日 ・市民：18歳以上の住民 1,050人 ・所有者：文化財所有者 123人
	11月27日	令和元年度 第1回西尾市文化遺産保存活用協議会	・西尾市文化財保存活用地域計画作成について ・令和元年度事業について
	12月20日	団体等ヒアリング調査	12月20日～令和2年2月23日 市内団体・個人 9団体・個人
令和2年 (2020)	3月18日	令和元年度 第2回西尾市文化遺産保存活用協議会	コロナ禍のため委員への書類送付のみ ・アンケート結果報告 ・ヒアリング結果報告 ・文化財保存活用計画の方向性について ・意識調査等から見る本市の傾向 ・文化財保存活用に向けた方向性
	10月13日	文化庁ヒアリング	・文化財保存活用地域計画作成について
令和3年 (2021)	3月30日	令和2年度 第1回 西尾市文化遺産保存活用協議会	・文化財保存活用地域計画作成について
	5月19日	文化庁ヒアリング (オンライン)	・文化財保存活用地域計画作成について
	6月25日	文化財保護委員会	・計画案に対する意見聴取
	7月30日	文化庁ヒアリング (オンライン)	・文化財保存活用地域計画作成について
	9月24日	文化財保護委員会(書面)	・計画案に対する意見聴取
	10月22日	令和3年度 第1回 西尾市文化遺産保存活用協議会	・文化財保存活用地域計画素案について
	10月26日	文化庁ヒアリング (オンライン)	・文化財保存活用地域計画素案について
令和4年 (2022)	1月20日～ 2月19日	パブリックコメント	・文化財保存活用地域計画案について
	3月23日	令和3年度 第2回 西尾市文化遺産保存活用協議会	・パブリックコメント結果について ・文化財保存活用地域計画案について

(2) 作成体制



(3) 西尾市文化遺産保存活用協議会規則

令和3年3月25日教育委員会規則第2号

西尾市文化遺産保存活用協議会規則

(趣旨)

第1条 この規則は、西尾市の地域の文化遺産を保存・活用し、文化振興及び地域活性化を推進するため、西尾市附属機関に関する条例（昭和39年西尾市条例第16号）第3条の規定に基づき、西尾市文化遺産保存活用協議会（以下「協議会」という。）について必要な事項を定めるものとする。

(所掌事務)

第2条 協議会は、教育委員会の諮問に応じ、次に掲げる事項に関して調査及び審議をし、その結果を教育委員会に答申する。

- (1) 西尾市文化財保存活用地域計画策定に関すること。
- (2) 地域の文化遺産保存・活用に関すること。
- (3) 地域の文化遺産普及啓発に関すること。
- (4) その他教育委員会が必要と認めること。

(組織)

第3条 協議会は、委員15人以内で組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから教育委員会が任命する。

- (1) 学識経験者
- (2) 市民の代表者
- (3) 関係機関の代表者
- (4) その他教育委員会が必要と認める者

(任期)

第4条 委員の任期は、3年とする。ただし、再任を妨げない。

2 前項本文の規定にかかわらず、委員が欠けた場合の補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会長及び副会長)

第5条 協議会に会長、副会長を置く。

- 2 会長は委員の互選により定める。
- 3 会長は、協議会を代表し、会務を総理し、会議の議長となる。
- 4 副会長は、委員の中から会長が指名する者をもって充てる。
- 5 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 協議会の会議は、会長が招集する。ただし、委員の任命後最初に開かれる会議並びに会長及び副会長が欠けたときの会議は、教育長が招集する。

- 2 協議会の会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。
- 3 協議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

4 協議会は、必要があると認めるときは、委員以外の者の出席を求め、意見を聴取することができる。

(守秘義務)

第7条 委員は、職務上知り得た秘密を他に漏らしてはならない。また、その職を退いた後も同様とする。

(庶務)

第8条 協議会の庶務は、教育委員会事務局文化財課において処理する。

(委任)

第9条 この規則に定めるもののほか、必要な事項は、教育委員会が別に定める。

附 則

この規則は、令和3年4月1日から施行する。

(4) 西尾市文化遺産保存活用協議会委員名簿

氏名	役職等	備考
山田 邦明	愛知大学教授	歴史分野
神谷 浩	徳川美術館副館長	美術分野
赤塚 次郎	NPO古代瀬波の里・文化遺産ネットワーク理事長	考古学分野
◎颯田 洪	西尾市文化財保護委員会委員長	郷土史全般
森 隆司	(一社)西尾市観光協会 専務理事	
○村松 泰治	にしお観光ボランティアの会 代表	
朝岡 一司	吉良あないびとの会 代表	
加藤 八重	西尾観光おもてなし隊	
洲崎 和宏	愛知県教育委員会生涯学習課文化財保護室室長補佐 愛知県県民文化局文化芸術課文化財室室長補佐	R1 R2～
齋藤 武雄	西尾市総合政策部企画政策課長	R1
高須 清和	〃	R2
藤井己代秀	〃	R3～
杉山 直樹	西尾市産業部商工観光課長	R1
石川 孝次	西尾市交流共創部観光文化振興課長	R2～
伴野 広幸	西尾市建設部都市計画課長	R1～R2
高須 清和	西尾市都市整備部都市計画課長	R3～
内藤 貴久	西尾市教育委員会教育部次長兼文化振興課長	R1
石川 浩治	西尾市教育委員会文化財課長	R2
齋藤 俊幸	西尾市教育委員会文化財課長	R3

◎：会長、○：副会長

助言者

文化庁地域文化創生本部文化遺産活用推進課広域文化観光・まちづくりグループ
事務局

西尾市教育委員会文化振興課 (R1)

西尾市教育委員会文化財課 (R2～)

(5) 西尾市文化財保委員会名簿

役職	氏名	備考
委員長	颯田 洪	
職務代理者	加藤 安信	
委員	榊原 宏之	
委員	水谷 寛明	
委員	山本 源一	
委員	北村 和宏	
委員	伴 幸成	
委員	鷹巣 純	
委員	松井 直樹	

2 地名の由来

地名の由来を調べることで、地域の歴史がよくわかることがあります。以下に本市の地名の由来について調査した結果を示します。

表 地名の由来

大字など	地区	由来
海にまつわるもの		
寺津[テラヅ]	西尾	①「和名抄」幡豆郡八郷の1つ大川郷の中心地で、古証文に天川とも見え、天川は天ツの誤記で、天ツが寺津となったとする『参河志』 ②願成寺の西と北に寄州があり、西を願成寺州、北を寺州と呼び、寺州が寺津となった『寺津村誌』 ③船が当地の港へ入る目印が願成寺であったことから、船人たちが寺津と称し、のちに村名となったという(同前)。
味浜[アジハマ]	一色	芦の茂った海辺から芦浜となり、味浜と転訛したものらしい。
白浜新田 [シラハマシンデン]	吉良	遠浅の白い砂浜が続くことになむか。
瀬戸[セト]	吉良	往古、付近一帯が海であった頃、岡山との間が瀬戸になっていたことになむと伝えられる。
津平[ツノヒラ]	吉良	往古、この地が入江となっており波止場(津)となっていたと伝えられ、地名はこれになむという。
友国[トモクニ]	吉良	往古この地は波静かな入江で地名は船尾の艦(とも)になむという。舳玉(へだま)(舳は船首のこと)、梶洗、舟戸、揚げなどの船になむ小字名が残る。
鳥羽[トバ]	幡豆	船舶の泊地すなわち波止場がなまって「とば」となったとも、あるいはかつて志摩半島の鳥羽と密接な船舶往来の関係があったためその分村として名付けられたとも考えられる。
川・水にまつわるもの		
井崎村[イサキ]	西尾	川に挟まれた地形によるもので、井崎は井道崎の意であろう。
家武村[エタケ]	西尾	慶長9(1604)年検地時には「江竹」とあることから、江は川を指し川沿いの竹が生い茂った地であったのであろうか『西尾市史』。地名はこれになむか。
千間[センゲン]	一色	築立てた堤防の長さが約1,000間(1.8km)であったことになむ。
対米[ツイゴメ]	一色	築籠(つきごめ)・対籠とも書いた。堤防築造に苦しみ、天照大神の札を堤防に築き籠めて完成したことから築籠と称するようになったという。その後の破堤後、蓮如自筆の名号一対をここに立てて築堤に成功し、一対の名号で米の収穫があったとして対米と改めたという。
酒井[サカイ]	吉良	地内に湧出する井水が酒のように美味であったことになむという。現在弘法井戸と呼ばれるものがそれと伝えられる。
永良[ナガラ]	西尾	古くは「ながれ」と呼んだが、転訛して「ながら」となったともいう『三和村誌』。
湿地にまつわるもの		
野田[ノダ]	一色	「ぬた」「にた」など湿地を示す言葉に由来すると思われる。
木田[キダ]	吉良	開拓当時は低湿地で水田村と称した『正向寺文書』。
丘陵にまつわるもの		
岡山[オカヤマ]	吉良	北部に東西に延びる丘陵を控えるところから岡山と称した。
平野にまつわるもの		
福地村[フクチ]	西尾	文化の薫り高き豊かな農村の建設を志向して名付けられた『続福地村誌』とあるが、いわゆる福地、地勢平坦な沃野の意であろう。
低地にまつわるもの		
乙川[オッカワ]	吉良	一説に低地が乙字型に立地することになむという。

大字など	地区	由来
島にまつわるもの		
養ヶ島[ヨガシマ]	一色	「あたえよるこぶ島」の意味から、与賀島、ついで養賀島、養ヶ島となったとする説と、赤羽村が養うという意味から、養賀島、養ヶ島となったとする説がある。
酒手島[サカテジマ]	一色	砂州が島になっていた所を干拓してできた伝わる。堤防完成の際に領主の相模甘縄藩主松平備前守から祝の酒を与えられ酒手島と命名されたとする説、三河湾上の佐久島の手前という意味で佐久手島から酒手島となった説がある。
大島[オオジマ]	吉良	吉田から離れた大きな島地であったことにちなむ。
寺嶋[テラジマ]	吉良	瀬門神社の御手洗の地(島)であったのが転訛して寺島となったとする説、この島地に寺(大通院)があったことにちなむとする説がある。
田にまつわるもの		
豊田村[トヨダ]	西尾	豊かな田園地帯の意か。
一色[イッシキ]	一色	一色田、1種類の貢租または課役だけを負担する田の制度にちなむが、1種類が何であったかは不明。
坂田新田 [サカタシンデン]	一色	元禄 15(1702)年に開発された午の新々田は宝永 4(1707)年の津波で消滅したが、明治 3(1870)年上矢田村の坂田吉助(のち吉郎)が西尾藩の許可で再開発した。翌年完成し坂田新田と名付けた。
饗庭[アイバ]	吉良	暦応 2(1339)年に開拓されたと伝えられ、友国村の尾崎勘解由(おざきかげゆ)の一族が伊勢神宮を分請して祀り、新田 550 石のうち 2 反を神宮へ初穂地として寄進し、以後御饗庭と呼ばれ、やがて饗庭郷となったという。
小山田[オヤマダ]	吉良	友国山地から当地北部に至る山を小山と呼び、そのふもとに開拓された新田を小山田と称したことによるという。
富好新田 [トミヨシシンデン]	吉良	当地の開拓を命じた領主吉良上野介義央夫人富子に由来し、眼病を罹った富子が身延山に祈願した結果快癒したため、その功德に報おうと夫義央の発願によって干拓されたことによると伝わる。
八幡川田 [ハチマンカワダ]	吉良	富田の新田として開かれた地で、富田との地境に八幡社があり、地名はこれにちなむ。
植物にまつわるもの		
藤江[フジエ]	一色	浜に白藤の木が茂っていたことにちなむと伝える。
荻原[オギワラ]	吉良	開拓前の当地が浜荻の繁茂する地であったことによるという。
地質にまつわるもの		
赤羽[アカバナ]	一色	当地が赤埴すなわち赤粘土の地質であることにちなむ。
地理にまつわるもの		
川崎村[カワサキ]	西尾	「地勢に因って名付けられた地名」と言われ『三和村誌』安藤川と矢作古川に挟まれた地形によるものであろう。
平原村[ヒラハラ]	西尾	平は坂・傾斜地を意味し、山麓の坂のある平地に集落を構えたことによる『西尾市史』。
西尾[ニシオ]	西尾	吉良山(雲母山・ハツ面山)から見て、西に尾・丘のように続く大地であり、その地形によるとみられる。また、一節に、往古は海岸で塩を生産したことから煮塩・烹塩・熱汐・熱塩が西尾に転訛したとする説もある
西野町[ニシノマチ]	西尾	西条城(西尾城)の西に位置することにちなむ。
羽角[ハスミ]	西尾	蘇美郷の北端で端蘇美(はそみ)の転訛か『西尾市史』。また幡豆郡の端隅(はすみ)か、吉良荘の端隅かなどの見方もある『三和村誌』。
平坂[へいサカ]	西尾	平坂(ひらさか)が「へいさか」となったと考えられ、平(ひら)は坂・傾斜地を差し、台地と低地との間の緩斜面上に集落が立地していることによると考えられる。
西崎村[ニシザキ]	西尾	この地域の中心地、寺津村に対して西の崎であることによる。
寺社にまつわるもの		
久麻久村[クマク]	西尾	ハツ面や熊味の久麻久神社の社名による。また、丹後から久麻久連が来てこの辺りを開発したとする伝説もある。
奥津村[オクツ]	西尾	上矢田の矢田神社の祭神奥津日子神(おきつひこのかみ)・奥津日売神(おきつひめのかみ)による『西尾町史』。

大字など	地区	由来
御鍛村[オクワ]	西尾	御鍛神社にちなむ。
松木島[マツキジマ]	一色	弘治年間(1555~1558)に島を開拓した清水氏が居宅の北西に松を植え、その下に八幡宮を祀り、のちにこれを村の鎮守としたことから松木島の地名が生まれたという。
小牧[コマキ]	吉良	古来当地が瀬門神社の神牧の地であったとの説がある。
宮崎[ミヤザキ]	吉良	日本武尊東征の折、宮簀媛(みやすひめ)の兄である、熱田の建稲種命(たけいなだねのみこと)が海路暴風のため遭難してその遺骸が当地に漂着し、村人がこの景勝の地に葬った。後世ここに宮を建てたのが幡頭神社で、宮を祀る岬の意から当地を宮崎と称するようになったと伝えられる。
宮迫[ミヤバ]	吉良	往古、この地に七社七か寺があり、七社(七寺)廻りをしてお参りしたことから宮廻村と称し、これがのちに訛って宮迫、または宮狭と呼ばれるようになったという。
吉田[ヨシダ]	吉良	宝珠院の「草切観音縁起」に天台僧栄俊が富士吉田から当地に移住し、以後居住地を吉田御坊と称したとする説、「三河郡村正記」に見える芦田が吉田に転訛したとする説がある。
幡豆[ハズ]	幡豆	諸説あり定かではないが、式内社羽豆神社(幡豆神社)の社名と深く関わっているとされる。幡豆神社は羽利(はど)神社とも称したと伝えるが、「和名抄」幡豆郡八郷の1つに磯泊郷がある。「シハト」が「ハト」に、さらに「ハズ」に転化したのかもしれない。古くは羽豆、波豆、播豆なども表記され、ほかに幡頭、幡豆・播頭などと記した記録もある。
人にまつわるもの		
貝吹[カイフク]	西尾	須美千坊と浅井千坊の僧らが議論をするとき、ほら貝を吹いて報じ合ったとの伝説や、日記に貝福とあり、往昔山麓一帯に多くの貝塚があったことによるとする説がある『三和村誌』。
小藪[コヤブ]	一色	開拓者である水谷次兵衛・山田佐兵衛の出身地(岐阜県羽島市桑原町小藪)による。
佐久島[サクシマ]	一色	崇神天皇の時に、伊勢斎宮の臣であった作(佐久)彦命が来住して開発したことによると伝わる『崇運寺蔵佐久島旧記』。
惣五郎[ソウゴロウ]	一色	開発者の名、対米(ついごめ)村の鈴木惣五郎による。承応年間(1652~1655)の開発らしく、村内すべてが干拓ではなく、荒地を開墾し、海辺に新田を築いたもの。
中外沢[ナカトザワ]	一色	開拓者の中野・外山・沢田3氏の姓の各1字をとって命名された。
細川[ホソカワ]	一色	開拓者の11人が額田郡細川村の者であったことにちなむ。
小栗新田[オグリシンデン]	西尾	宝暦5年、半田の小栗半七が開発した
合併にまつわるもの		
六郷村[ロクゴウ]	西尾	笹曾根・平口・市子・野々宮・横手・天竹の6か村が合併したことから名付けられた。
吹羽良村[フキバラ]	西尾	貝吹・羽角・永良の各1字をとって名付けられた。
花明村[ケミョウ]	西尾	花蔵寺・善明の2か村の村名の各1字による。
室場村[ムロバ]	西尾	室と駒場の2か村が合併して成立し、室村・駒場村から2大字をとった。
三和村[ミワ]	西尾	3村(御鍛村・川崎村・吹羽良村)合併を記念し、美和の意を含み将来の自治の円滑を願い、3村和合の意義から名付けた『三和村誌』。
池田[イケダ]	一色	合併した村のうち池頭と中田の各1字を組み合わせた。
開正[カイショウ]	一色	明治9(1876)年の合併に際して正しく開ける村の意味で命名された。
前野[マエノ]	一色	合併した前後・熊野の2か村の各1字を並べた。
上横須賀[カミヨコスカ]	吉良	正徳4(1714)年横須賀村が上横須賀村と下横須賀村に分かれたことによる。
下横須賀[シモヨコスカ]	吉良	正徳4(1714)年横須賀村が上横須賀村と下横須賀村に分かれたことによる。

出典：角川日本地名大辞典15、愛知県の地名、日本歴史地名体系23

3 市民アンケート調査結果

(1) 調査の概要

1) 調査の目的

本調査は、市民の文化財に関する考え等を把握し、計画に反映することを目的に実施しました。

2) 調査の方法

- 調査対象 市内に在住する 18 歳以上の市民 1,050 人
- 調査方法 郵送によるアンケート調査
- 調査期間 令和元（2019）年 11 月 20 日（木）～12 月 16 日（月）

3) 配布・回収状況

配布数	有効回収数	有効回収率
1,050	370	35.2%

4) アンケート調査における標本誤差

以下の表に本調査における信頼度 95% の場合の標本誤差の早見表を整理します。

回答比率 回答者 総数(N)	10% 90%	20% 80%	30% 70%	40% 60%	50%
370	±3.12%	±4.15%	±4.76%	±5.09%	±5.19%
750	±2.19%	±2.91%	±3.34%	±3.57%	±3.64%
500	±2.68%	±3.57%	±4.09%	±4.37%	±4.46%
250	±3.79%	±5.06%	±5.79%	±6.19%	±6.32%
100	±6.00%	±8.00%	±9.16%	±9.79%	±10.00%

※母集団数：143,043 人（令和元（2019）年 12 月 1 日時点の満 18 歳以上の市民）

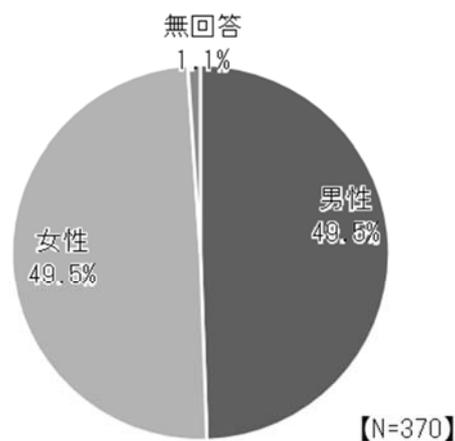
5) 報告書の見方

- 図表中の N とは、回答者総数のことです。
- 割合は N を 100.0% として算出し、小数点以下第二位を四捨五入したため、合計が 100.0% にならない場合があります。

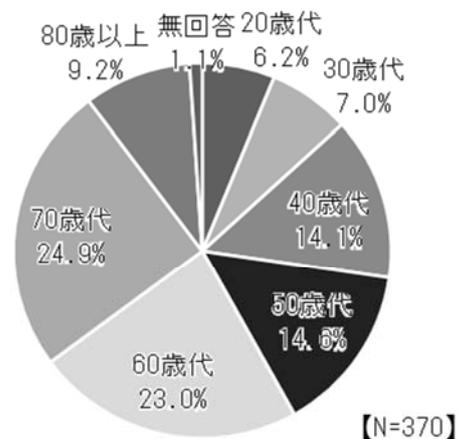
(2) 調査結果

1) あなた自身について

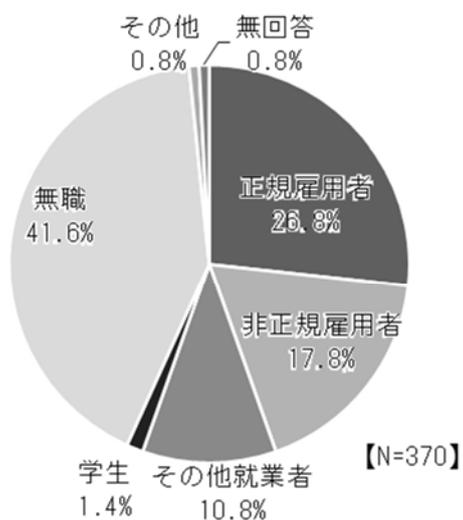
性別



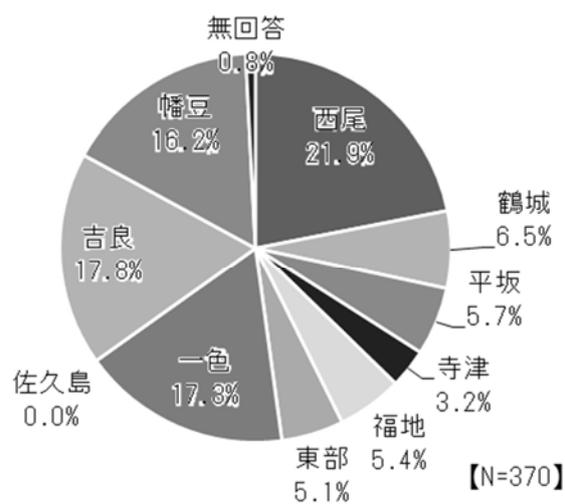
年齢



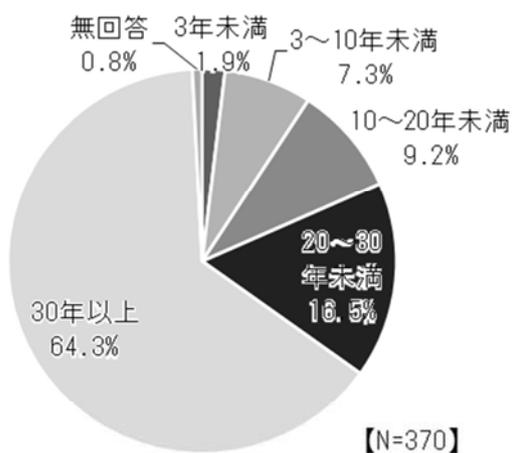
職業



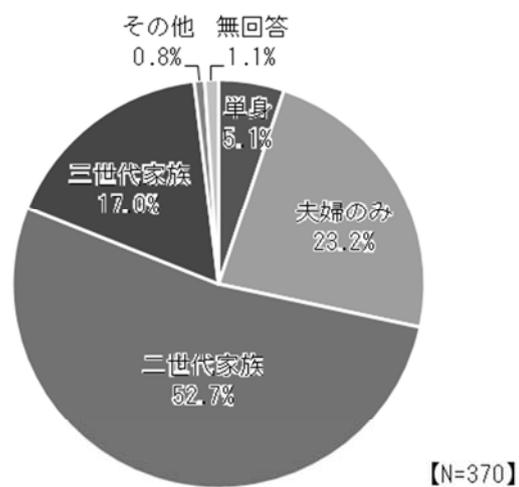
お住まい（中学校区）



居住歴



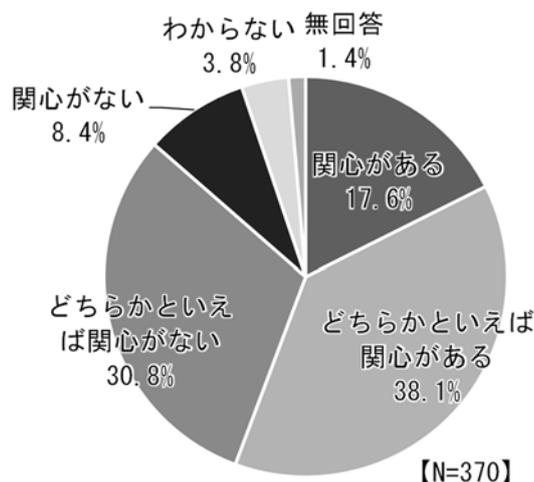
家族構成



2) 文化財との関わりについて

問 あなたは、文化財・歴史に関心がありますか

全体で最も多いのは「どちらかといえば関心がある」で38.1%、次いで「どちらかといえば関心がない」30.8%、「関心がある」17.6%となっています。



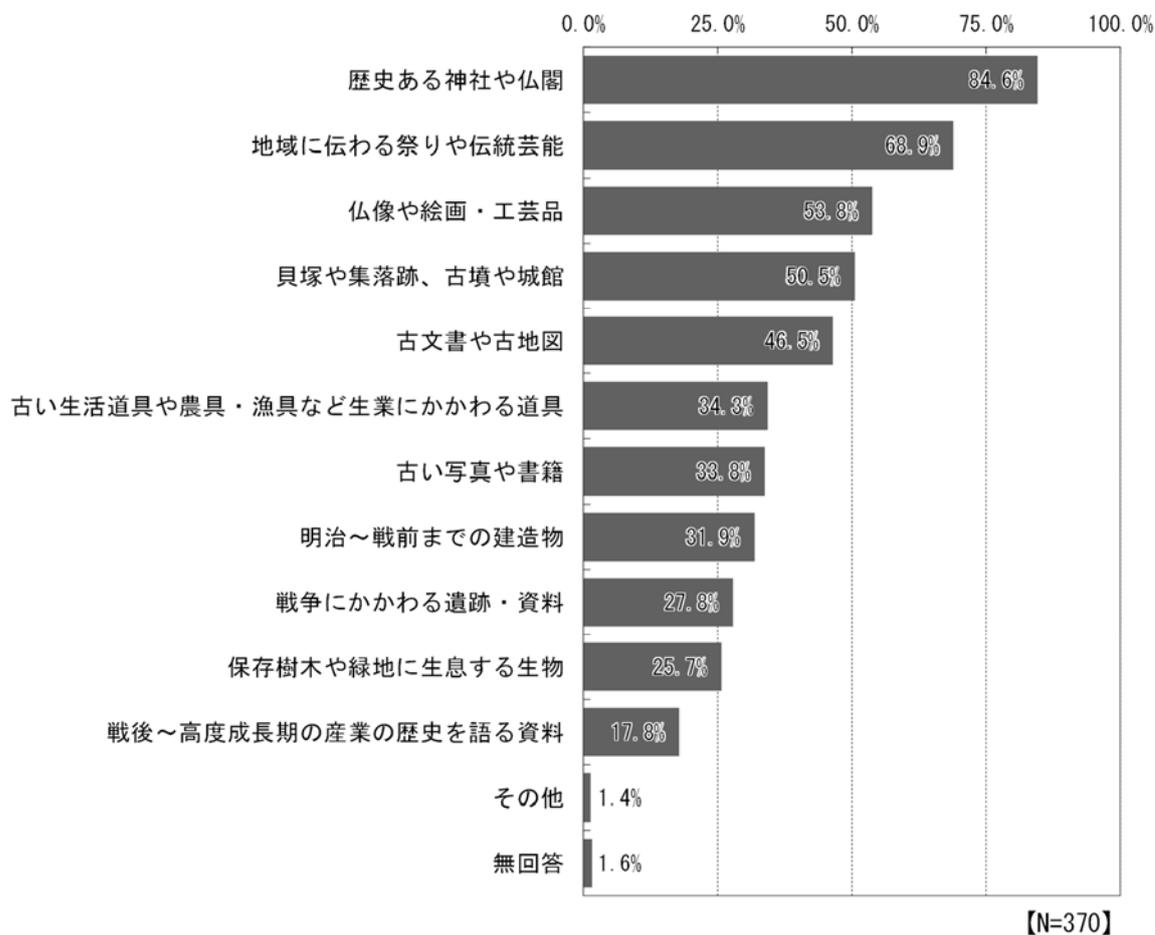
属性別にみると、年齢別では50歳代、70歳代、居住地別では西尾地区と寺津地区、福地地区で『関心がある』（「関心がある」「どちらかといえば関心がない」の合計）の割合が全体よりも高くなっています。

		N	関心がある	どちらかといえば関心がある	どちらかといえば関心がない	関心がない
全体		370	17.6%	38.1%	30.8%	8.4%
性別	男性	183	21.3%	37.2%	29.0%	9.3%
	女性	183	14.2%	39.9%	32.8%	7.7%
年齢別	20歳代	23	13.0%	34.8%	43.5%	8.7%
	30歳代	26	15.4%	19.2%	26.9%	30.8%
	40歳代	52	19.2%	34.6%	28.8%	11.5%
	50歳代	54	20.4%	42.6%	31.5%	5.6%
	60歳代	85	14.1%	43.5%	34.1%	3.5%
	70歳代	92	17.4%	43.5%	29.3%	4.3%
	80歳以上	34	26.5%	26.5%	26.5%	14.7%
居住地別	西尾	81	27.2%	40.7%	24.7%	2.5%
	鶴城	24	8.3%	20.8%	45.8%	20.8%
	平坂	21	14.3%	42.9%	38.1%	4.8%
	寺津	12	16.7%	50.0%	33.3%	0.0%
	福地	20	20.0%	50.0%	20.0%	5.0%
	東部	19	26.3%	21.1%	31.6%	21.1%
	一色	64	12.5%	45.3%	34.4%	3.1%
	吉良	66	9.1%	43.9%	28.8%	12.1%
	幡豆	60	21.7%	26.7%	33.3%	13.3%



問 あなたが思う「文化財」とはどのようなものですか 《複数回答可》

全体で最も多いのは「歴史ある神社や仏閣」で84.6%、次いで「地域に伝わる祭りや伝統芸能」68.9%、「仏像や絵画・工芸品」53.8%となっています。



その他意見としては、次の4件ありました。

- ・民話・墓跡。
- ・花火。
- ・自分の今までの出来事。
- ・外国人（将来の定住者）の「西尾市民」の文化財も含めるべし。

属性別にみると、50歳代で「貝塚や集落跡、古墳や城館」の割合が全体よりも高く、70歳代で低くなっています。

		N	歴史ある神社や仏閣	地域に伝わる祭りや伝統芸能	保存樹木や緑地に生息する生物	貝塚や集落跡、古墳や城館	仏像や絵画・工芸品	古文書や古地図	古い写真や書籍	明治～戦前までの建造物	戦争にかかわる遺跡・資料	戦後～高度成長期の産業の歴史を語る資料	生業にかかわる道具
全体		370	84.6%	68.9%	25.7%	50.5%	53.8%	46.5%	33.8%	31.9%	27.8%	17.8%	34.3%
性別	男性	183	88.0%	69.4%	25.1%	53.0%	47.5%	41.5%	33.9%	33.3%	31.7%	19.1%	31.7%
	女性	183	82.5%	69.4%	26.8%	48.6%	60.7%	51.9%	34.4%	31.1%	24.0%	16.9%	37.2%
年齢別	20歳代	23	87.0%	69.6%	34.8%	78.3%	60.9%	65.2%	43.5%	52.2%	60.9%	47.8%	52.2%
	30歳代	26	96.2%	76.9%	19.2%	69.2%	73.1%	61.5%	42.3%	46.2%	42.3%	23.1%	26.9%
	40歳代	52	84.6%	73.1%	30.8%	55.8%	57.7%	53.8%	38.5%	34.6%	36.5%	15.4%	30.8%
	50歳代	54	88.9%	74.1%	35.2%	64.8%	53.7%	42.6%	35.2%	37.0%	20.4%	13.0%	37.0%
	60歳代	85	83.5%	67.1%	23.5%	44.7%	52.9%	48.2%	32.9%	27.1%	31.8%	15.3%	28.2%
	70歳代	92	83.7%	66.3%	21.7%	39.1%	48.9%	41.3%	31.5%	28.3%	15.2%	17.4%	40.2%
	80歳以上	34	82.4%	67.6%	20.6%	38.2%	50.0%	32.4%	23.5%	20.6%	20.6%	14.7%	29.4%
居住地別	西尾	81	86.4%	67.9%	22.2%	48.1%	60.5%	54.3%	43.2%	38.3%	30.9%	22.2%	29.6%
	鶴城	24	83.3%	70.8%	16.7%	62.5%	50.0%	37.5%	33.3%	45.8%	25.0%	16.7%	33.3%
	平坂	21	85.7%	71.4%	28.6%	42.9%	52.4%	57.1%	28.6%	38.1%	19.0%	9.5%	38.1%
	寺津	12	83.3%	66.7%	16.7%	66.7%	75.0%	50.0%	16.7%	16.7%	41.7%	8.3%	16.7%
	福地	20	100.0%	85.0%	40.0%	70.0%	55.0%	45.0%	30.0%	55.0%	40.0%	15.0%	45.0%
	東部	19	89.5%	78.9%	31.6%	57.9%	57.9%	57.9%	31.6%	42.1%	31.6%	21.1%	26.3%
	一色	64	82.8%	68.8%	29.7%	46.9%	53.1%	50.0%	42.2%	34.4%	31.3%	25.0%	40.6%
	吉良	66	90.9%	60.6%	19.7%	50.0%	43.9%	39.4%	30.3%	22.7%	27.3%	16.7%	36.4%
幡豆	60	75.0%	73.3%	31.7%	46.7%	55.0%	38.3%	25.0%	16.7%	18.3%	11.7%	35.0%	

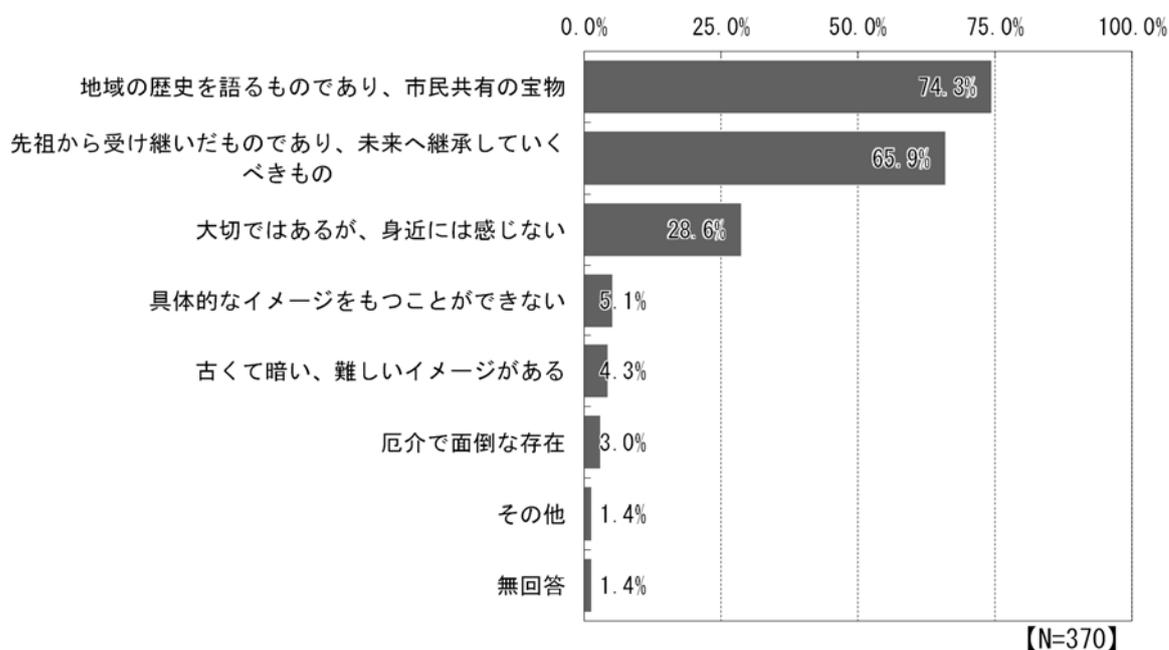
全体と比較して、5～10ポイント以上の差があるもの(N値≥50)

～ -10%	～ -5%	～ +5%	+10% ～
--------	-------	-------	--------

問 あなたが思う「文化財」から連想されるイメージは何ですか

《複数回答可》

全体で最も多いのは「地域の歴史を語るものであり、市民共有の宝物」で74.3%、次いで「先祖から受け継いだものであり、未来へ継承していくべきもの」65.9%、「大切ではあるが、身近には感じない」28.6%となっています。



その他意見としては、次の5件ありました。

- ・ お金がかかる。
- ・ 多くの人利用、生産した地域の保存すべき物。
- ・ 自分の考えが行動に変化すること。
- ・ 観光施設と同じで一度見てしまえばそれで終わり。過去の事より未来に目を向けるべき。
- ・ 外国人（将来の定住者）の「西尾市民」の文化財も含めるべし。

属性別にみても、全体の傾向と大きな差はありません。

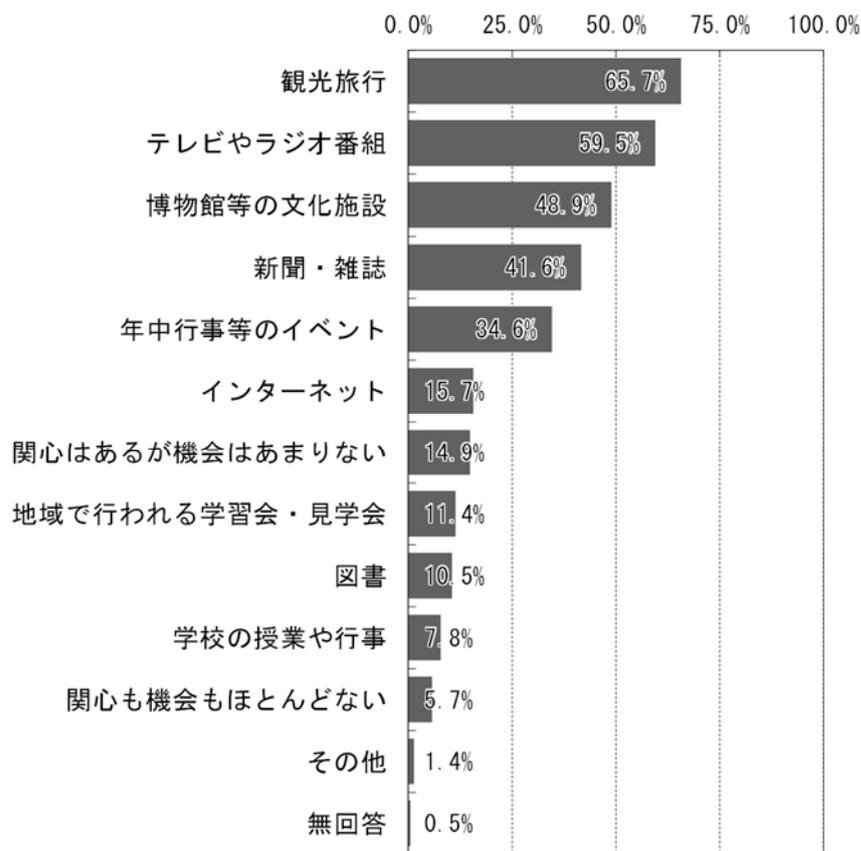
		N	市民共有の宝物	未来へ継承していくべきもの	大切ではあるが、身近には感じない	厄介で面倒な存在	古くて暗い、難しいイメージ	具体的なイメージをもつことができない
全体		370	74.3%	65.9%	28.6%	3.0%	4.3%	5.1%
性別	男性	183	78.1%	68.3%	28.4%	4.4%	4.4%	4.4%
	女性	183	72.1%	64.5%	29.0%	1.6%	4.4%	6.0%
年齢別	20歳代	23	82.6%	69.6%	30.4%	0.0%	8.7%	0.0%
	30歳代	26	73.1%	61.5%	42.3%	3.8%	0.0%	3.8%
	40歳代	52	67.3%	65.4%	26.9%	1.9%	7.7%	5.8%
	50歳代	54	77.8%	64.8%	27.8%	5.6%	5.6%	5.6%
	60歳代	85	71.8%	71.8%	27.1%	3.5%	4.7%	5.9%
	70歳代	92	78.3%	67.4%	28.3%	2.2%	1.1%	5.4%
	80歳以上	34	76.5%	58.8%	29.4%	2.9%	5.9%	5.9%
居住地別	西尾	81	75.3%	66.7%	19.8%	0.0%	3.7%	6.2%
	鶴城	24	79.2%	75.0%	29.2%	0.0%	8.3%	4.2%
	平坂	21	66.7%	52.4%	42.9%	9.5%	4.8%	14.3%
	寺津	12	66.7%	66.7%	8.3%	0.0%	8.3%	0.0%
	福地	20	85.0%	65.0%	30.0%	5.0%	0.0%	5.0%
	東部	19	78.9%	68.4%	31.6%	10.5%	0.0%	5.3%
	一色	64	79.7%	71.9%	31.3%	3.1%	4.7%	1.6%
吉良	66	75.8%	63.6%	33.3%	3.0%	3.0%	6.1%	
幡豆	60	66.7%	65.0%	31.7%	3.3%	6.7%	5.0%	

全体と比較して、5~10ポイント以上の差があるもの(N値≥50)

~-10%	~-5%	~+5%	+10%~
-------	------	------	-------

問 あなたが文化財に接するのはどのような機会ですか 《複数回答可》

全体で最も多いのは「観光旅行」で65.7%、次いで「テレビやラジオ番組」59.5%、「博物館等の文化施設」48.9%となっています。



【N=370】

その他意見としては、次の4件ありました。

- ・ 時節に行われる地域の習慣。
- ・ 今の行動の一部。
- ・ ゲーム
- ・ 外国人（将来の定住者）の「西尾市民」の文化財も含めるべし。

属性別にみると、年齢別の50歳代で「観光旅行」、「博物館等の文化施設」、70歳代で「新聞・雑誌」、居住地別の幡豆で「テレビやラジオ番組」、「新聞・雑誌」の割合が全体より高くなっています。

また、文化財・歴史への関心度別にみると、「関心がある」と回答した人は「学校の授業や行事」以外の項目で回答が高くなっており、多様な機会でも文化財に接しています。

		N	観光旅行	テレビやラジオ番組	博物館等の文化施設	新聞・雑誌	年中行事等のイベント	地域で行われる学習会・見学会	インターネット	学校の授業や行事	読書	関心はあるが機会はあまりない	関心も機会もほとんどない
全体		370	65.7%	59.5%	48.9%	41.6%	34.6%	11.4%	15.7%	7.8%	10.5%	14.9%	5.7%
性別	男性	183	65.6%	57.9%	49.2%	34.4%	35.5%	9.3%	21.3%	7.1%	9.3%	14.2%	5.5%
	女性	183	66.1%	61.2%	49.2%	49.7%	33.3%	13.7%	9.8%	8.7%	12.0%	15.8%	6.0%
年齢別	20歳代	23	73.9%	52.2%	56.5%	17.4%	26.1%	17.4%	30.4%	34.8%	21.7%	4.3%	4.3%
	30歳代	26	69.2%	65.4%	42.3%	15.4%	42.3%	3.8%	23.1%	26.9%	3.8%	0.0%	11.5%
	40歳代	52	71.2%	46.2%	53.8%	21.2%	34.6%	13.5%	11.5%	11.5%	3.8%	9.6%	11.5%
	50歳代	54	79.6%	59.3%	64.8%	40.7%	33.3%	11.1%	20.4%	7.4%	11.1%	14.8%	3.7%
	60歳代	85	64.7%	64.7%	47.1%	47.1%	36.5%	10.6%	22.4%	1.2%	12.9%	12.9%	4.7%
	70歳代	92	62.0%	60.9%	42.4%	59.8%	39.1%	12.0%	8.7%	3.3%	8.7%	23.9%	1.1%
	80歳以上	34	44.1%	67.6%	41.2%	50.0%	20.6%	11.8%	0.0%	0.0%	17.6%	23.5%	11.8%
居住地別	西尾	81	69.1%	60.5%	58.0%	40.7%	32.1%	9.9%	18.5%	6.2%	11.1%	13.6%	2.5%
	鶴城	24	62.5%	70.8%	41.7%	50.0%	29.2%	8.3%	8.3%	8.3%	12.5%	4.2%	12.5%
	平坂	21	47.6%	66.7%	52.4%	52.4%	38.1%	14.3%	9.5%	4.8%	14.3%	19.0%	14.3%
	寺津	12	66.7%	33.3%	41.7%	41.7%	16.7%	25.0%	8.3%	8.3%	8.3%	16.7%	8.3%
	福地	20	75.0%	60.0%	65.0%	40.0%	45.0%	5.0%	15.0%	15.0%	10.0%	15.0%	5.0%
	東部	19	73.7%	73.7%	36.8%	47.4%	63.2%	26.3%	31.6%	21.1%	15.8%	15.8%	0.0%
	一色	64	65.6%	45.3%	51.6%	34.4%	29.7%	7.8%	20.3%	6.3%	9.4%	17.2%	4.7%
	吉良	66	62.1%	50.0%	43.9%	28.8%	28.8%	15.2%	10.6%	4.5%	7.6%	16.7%	6.1%
	幡豆	60	68.3%	78.3%	41.7%	58.3%	41.7%	8.3%	13.3%	10.0%	11.7%	15.0%	6.7%
文化財等への関心度	関心がある	65	75.4%	70.8%	67.7%	49.2%	50.8%	27.7%	30.8%	10.8%	30.8%	10.8%	0.0%
	どちらかといえば関心がある	141	69.5%	61.0%	58.2%	46.1%	39.0%	13.5%	19.9%	6.4%	11.3%	14.2%	0.0%
	どちらかといえば関心がない	114	64.0%	57.9%	35.1%	41.2%	25.4%	3.5%	5.3%	8.8%	1.8%	20.2%	7.0%
	関心がない	31	45.2%	35.5%	22.6%	12.9%	12.9%	3.2%	3.2%	9.7%	0.0%	3.2%	38.7%

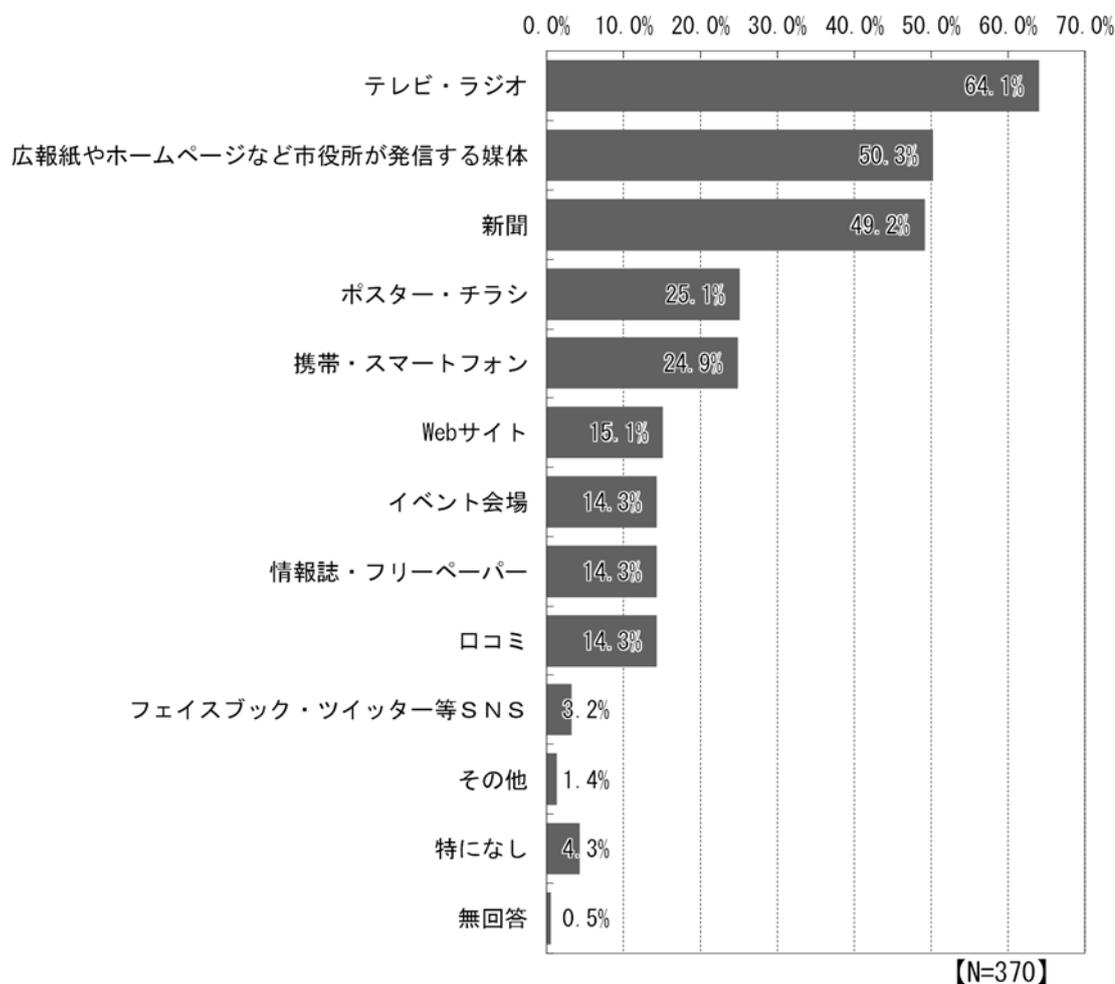
全体と比較して、5～10ポイント以上の差があるもの(N値≥50)

～ -10%	～ -5%	～ +5%	+10% ～
--------	-------	-------	--------

問 あなたは、歴史・文化に関する情報をどのような媒体から得ていますか

《複数回答可》

全体で最も多いのは「テレビ・ラジオ」で64.1%、次いで「広報紙やホームページなど市役所が発信する媒体」50.3%、「新聞」49.2%となっています。



その他意見としては、次の3件ありました。

- ・ 小学校や中学校の行事、子供のイベント参加の付添。
- ・ 旅先での情報。
- ・ ゲーム。

年齢別みると、60歳代以上は、市役所からの情報、新聞、テレビ・ラジオといった媒体から情報を得ており、40、50歳代は、携帯・スマートフォン、Webサイトといった電子媒体から情報を得る傾向となっています。

文化財への関心度別みると、関心がある方は、ほとんどの項目で全体よりも回答が高く、多様な媒体から情報を得ています。

文化財に接する機会別にみると、「年中行事等のイベント」と回答した文化財に積極的に関わる方は「市役所が発信する媒体」や「イベント会場」、「ポスター・チラシ」との回答が多くなっています。

		N	市役所が発信する媒体	携帯・スマートフォン	イベント会場	新聞	ポスター・チラシ	Webサイト	情報誌・フリーペーパー	SNS	テレビ・ラジオ	ロコミ
全体		370	50.3%	24.9%	14.3%	49.2%	25.1%	15.1%	14.3%	3.2%	64.1%	14.3%
性別	男性	183	50.3%	28.4%	13.1%	48.6%	19.1%	18.6%	18.6%	3.8%	62.3%	15.3%
	女性	183	50.8%	21.3%	15.3%	50.8%	31.7%	11.5%	10.4%	2.2%	66.1%	12.0%
年齢別	20歳代	23	26.1%	52.2%	13.0%	17.4%	21.7%	43.5%	39.1%	17.4%	47.8%	0.0%
	30歳代	26	26.9%	65.4%	19.2%	15.4%	15.4%	23.1%	19.2%	3.8%	57.7%	7.7%
	40歳代	52	50.0%	30.8%	15.4%	25.0%	19.2%	23.1%	9.6%	3.8%	48.1%	9.6%
	50歳代	54	35.2%	35.2%	13.0%	44.4%	20.4%	20.4%	20.4%	0.0%	68.5%	16.7%
	60歳代	85	57.6%	24.7%	14.1%	63.5%	37.6%	17.6%	14.1%	3.5%	70.6%	14.1%
	70歳代	92	67.4%	7.6%	16.3%	68.5%	27.2%	1.1%	8.7%	1.1%	69.6%	17.4%
	80歳以上	34	47.1%	0.0%	5.9%	58.8%	17.6%	0.0%	8.8%	0.0%	67.6%	20.6%
居住地別	西尾	81	51.9%	27.2%	17.3%	49.4%	22.2%	19.8%	17.3%	1.2%	66.7%	13.6%
	鶴城	24	50.0%	41.7%	8.3%	62.5%	20.8%	0.0%	16.7%	0.0%	75.0%	12.5%
	平坂	21	38.1%	28.6%	4.8%	61.9%	28.6%	4.8%	9.5%	0.0%	85.7%	9.5%
	寺津	12	41.7%	25.0%	0.0%	50.0%	16.7%	33.3%	16.7%	8.3%	41.7%	8.3%
	福地	20	55.0%	40.0%	20.0%	40.0%	35.0%	25.0%	15.0%	5.0%	65.0%	0.0%
	東部	19	57.9%	36.8%	21.1%	47.4%	26.3%	21.1%	21.1%	0.0%	42.1%	15.8%
	一色	64	46.9%	23.4%	12.5%	45.3%	31.3%	17.2%	9.4%	6.3%	64.1%	17.2%
	吉良	66	51.5%	13.6%	10.6%	47.0%	16.7%	7.6%	9.1%	6.1%	60.6%	15.2%
	幡豆	60	53.3%	20.0%	20.0%	51.7%	31.7%	15.0%	20.0%	0.0%	65.0%	16.7%
文化財等への関心度	関心がある	65	61.5%	27.7%	27.7%	64.6%	38.5%	26.2%	23.1%	1.5%	75.4%	23.1%
	どちらかといえば関心がある	141	53.9%	29.8%	16.3%	52.5%	24.1%	18.4%	19.9%	5.0%	63.8%	17.0%
	どちらかといえば関心がない	114	46.5%	21.1%	7.0%	47.4%	23.7%	7.9%	6.1%	2.6%	64.9%	7.0%
	関心がない	31	32.3%	19.4%	3.2%	19.4%	12.9%	6.5%	3.2%	0.0%	48.4%	6.5%
文化財に接する機会	観光旅行	243	51.9%	32.1%	19.3%	52.7%	29.2%	20.2%	19.3%	4.9%	69.1%	16.0%
	博物館等の文化施設	181	54.1%	32.6%	21.0%	52.5%	29.3%	23.8%	19.3%	5.0%	70.7%	17.1%
	年中行事等のイベント	128	63.3%	32.0%	30.5%	55.5%	39.8%	19.5%	19.5%	2.3%	68.0%	22.7%
	地域で行われる学習会・見学会	42	76.2%	33.3%	33.3%	59.5%	38.1%	31.0%	19.0%	4.8%	64.3%	35.7%
	テレビやラジオ番組	220	51.4%	29.5%	16.8%	60.5%	29.1%	14.5%	19.1%	1.4%	82.7%	16.8%
	新聞・雑誌	154	62.3%	26.0%	19.5%	80.5%	37.0%	13.0%	19.5%	0.6%	79.9%	21.4%
	インターネット	58	48.3%	63.8%	27.6%	50.0%	34.5%	48.3%	31.0%	5.2%	77.6%	22.4%
	学校の授業や行事	29	44.8%	55.2%	27.6%	27.6%	27.6%	27.6%	27.6%	3.4%	58.6%	20.7%
	読書	39	53.8%	51.3%	25.6%	66.7%	41.0%	30.8%	23.1%	2.6%	89.7%	33.3%
	関心はあるが機会はあまりない	55	58.2%	14.5%	14.5%	58.2%	21.8%	9.1%	10.9%	0.0%	72.7%	21.8%
	関心も機会もほとんどない	21	38.1%	4.8%	0.0%	33.3%	9.5%	4.8%	0.0%	0.0%	47.6%	9.5%

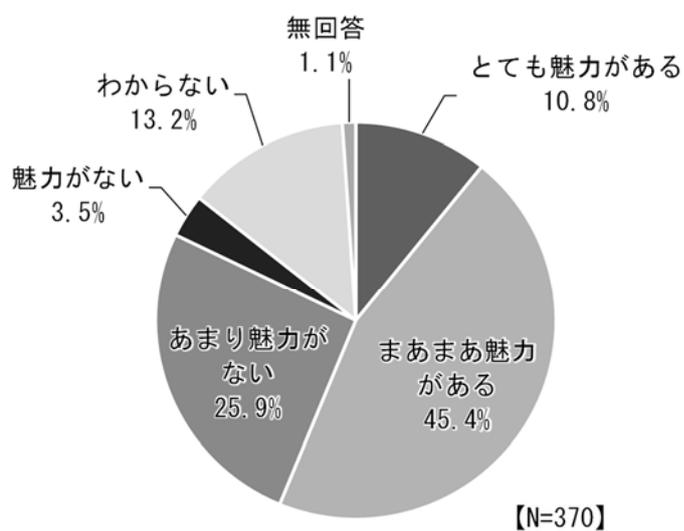
全体と比較して、5～10ポイント以上の差があるもの(N値≥50)

～ -10% ～ -5% ～ +5% +10% ～

3) 文化財の保存・活用について

問 西尾市にとって、歴史・文化等の文化財は魅力があると思いますか

全体で最も多いのは「まあまあ魅力がある」で45.4%、次いで「あまり魅力がない」25.9%、「わからない」13.2%となっています。



属性別には全体の傾向と大きな差は見られません。

文化財をどのようなものと思うか別にみると、「魅力がある」（「とても魅力がある」「まあまあ魅力がある」の合計）の割合が高かったのは、「保存樹木や緑地に生息する生物」、「戦争にかかわる遺跡・資料」、「戦後～高度成長期の産業の歴史を語る資料」、「生業にかかわる道具」となっており、比較的、新しいものに対して、「魅力がある」との回答が多くなっています。

		N	とても魅力がある	まあまあ魅力がある	あまり魅力がない	魅力がない
全体		370	10.8%	45.4%	25.9%	3.5%
性別	男性	183	13.1%	39.3%	31.1%	4.9%
	女性	183	8.7%	51.9%	21.3%	2.2%
年齢別	20歳代	23	0.0%	52.2%	34.8%	0.0%
	30歳代	26	19.2%	19.2%	26.9%	3.8%
	40歳代	52	11.5%	44.2%	15.4%	11.5%
	50歳代	54	9.3%	31.5%	44.4%	5.6%
	60歳代	85	10.6%	50.6%	23.5%	3.5%
	70歳代	92	10.9%	53.3%	25.0%	0.0%
	80歳以上	34	14.7%	52.9%	14.7%	0.0%
居住地別	西尾	81	9.9%	53.1%	25.9%	2.5%
	鶴城	24	8.3%	41.7%	33.3%	8.3%
	平坂	21	9.5%	38.1%	19.0%	9.5%
	寺津	12	16.7%	16.7%	41.7%	0.0%
	福地	20	10.0%	60.0%	20.0%	5.0%
	東部	19	15.8%	42.1%	10.5%	0.0%
	一色	64	9.4%	40.6%	39.1%	3.1%
	吉良	66	10.6%	42.4%	27.3%	3.0%
	幡豆	60	13.3%	50.0%	15.0%	3.3%
文化財をどのようなものと思うか	歴史ある神社や仏閣	313	12.1%	47.3%	25.6%	2.9%
	地域に伝わる祭りや伝統芸能	255	11.4%	46.7%	28.2%	2.7%
	保存樹木や緑地に生息する生物	95	16.8%	50.5%	22.1%	2.1%
	貝塚や集落跡、古墳や城館	187	12.3%	50.3%	24.1%	2.1%
	仏像や絵画・工芸品	199	10.6%	50.3%	24.6%	3.0%
	古文書や古地図	172	12.2%	51.7%	23.8%	2.9%
	古い写真や書籍	125	12.0%	54.4%	24.0%	2.4%
	明治～戦前までの建造物	118	13.6%	50.0%	26.3%	3.4%
	戦争にかかわる遺跡・資料	103	14.6%	50.5%	21.4%	2.9%
	戦後～高度成長期の産業の歴史を語る資料	66	9.1%	59.1%	22.7%	1.5%
生業にかかわる道具	127	10.2%	58.3%	20.5%	2.4%	
文化財のイメージ	市民共有の宝物	275	12.7%	50.9%	25.1%	2.2%
	未来へ継承していくべきもの	244	13.9%	50.8%	24.2%	2.5%
	大切ではあるが、身近には感じない	106	2.8%	33.0%	32.1%	4.7%
	厄介で面倒な存在	11	9.1%	27.3%	45.5%	0.0%
	古くて暗い、難しいイメージ	16	6.3%	25.0%	37.5%	12.5%
	具体的なイメージをもつことができない	19	0.0%	21.1%	36.8%	10.5%

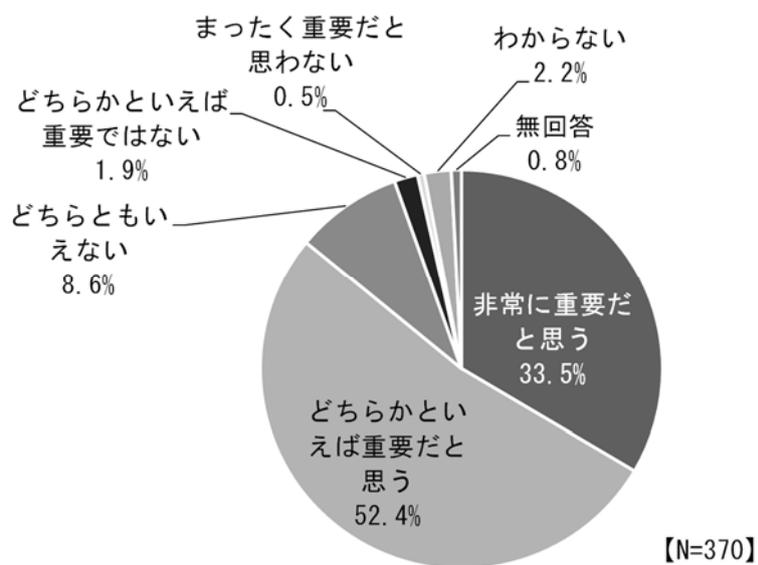
凡例

低

高

問 あなたは文化財を地域の宝として次世代に伝えていくことは重要だと思いますか

全体で最も多いのは「どちらかといえば重要だと思う」で52.4%、次いで「非常に重要だと思う」33.5%、「どちらともいえない」8.6%となっています。



属性別にみても、全体の傾向と大きな差はありません。

文化財・歴史への関心度別にみると、関心度が高いほど「重要」（「非常に重要」、「どちらかといえば重要」の合計）の割合が高くなっています。

文化財の魅力別にみると、魅力があると回答した人ほど「重要」の割合が高くなっています。

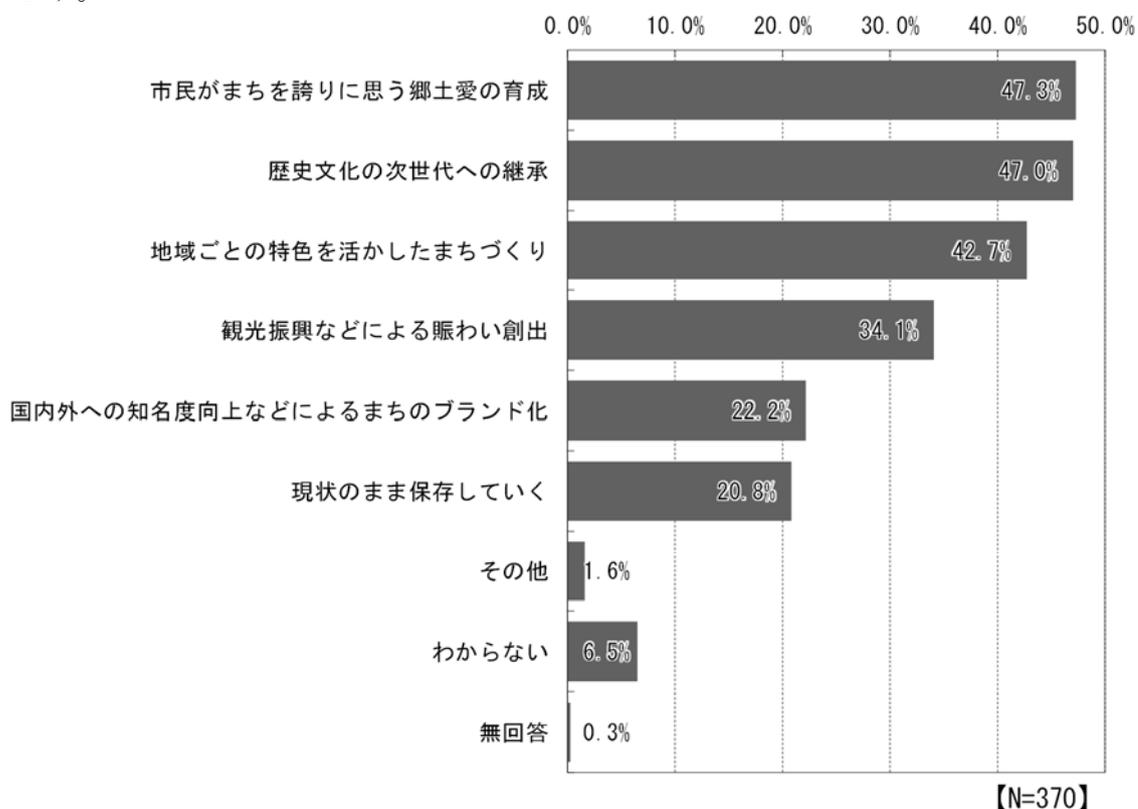
		N	非常に重要	どちらかといえば重要	どちらともいえない	どちらかといえば重要ではない	まったく重要だと思わない
全体		370	33.5%	52.4%	8.6%	1.9%	0.5%
性別	男性	183	37.7%	48.1%	9.3%	2.2%	0.5%
	女性	183	30.1%	56.8%	7.7%	1.6%	0.5%
年齢別	20歳代	23	34.8%	47.8%	13.0%	0.0%	0.0%
	30歳代	26	30.8%	50.0%	3.8%	3.8%	3.8%
	40歳代	52	42.3%	46.2%	3.8%	3.8%	0.0%
	50歳代	54	33.3%	57.4%	5.6%	0.0%	0.0%
	60歳代	85	25.9%	57.6%	10.6%	2.4%	1.2%
	70歳代	92	37.0%	52.2%	7.6%	2.2%	0.0%
	80歳以上	34	35.3%	50.0%	14.7%	0.0%	0.0%
居住地別	西尾	81	46.9%	43.2%	6.2%	1.2%	1.2%
	鶴城	24	16.7%	62.5%	16.7%	4.2%	0.0%
	平坂	21	38.1%	33.3%	14.3%	0.0%	0.0%
	寺津	12	33.3%	58.3%	0.0%	0.0%	0.0%
	福地	20	30.0%	65.0%	5.0%	0.0%	0.0%
	東部	19	26.3%	57.9%	10.5%	5.3%	0.0%
	一色	64	29.7%	59.4%	9.4%	1.6%	0.0%
	吉良	66	33.3%	48.5%	12.1%	3.0%	0.0%
	幡豆	60	30.0%	58.3%	3.3%	1.7%	1.7%
歴史関心別	文化財・歴史 関心がある	65	80.0%	18.5%	1.5%	0.0%	0.0%
	どちらかといえば関心がある	141	38.3%	57.4%	3.5%	0.7%	0.0%
	どちらかといえば関心がない	114	11.4%	67.5%	15.8%	1.8%	0.0%
	関心がない	31	3.2%	48.4%	19.4%	12.9%	6.5%
文化財をどのよう に思うか別	歴史ある神社や仏閣	313	36.1%	53.4%	7.0%	1.3%	0.6%
	地域に伝わる祭りや伝統芸能	255	35.3%	54.1%	7.1%	1.6%	0.8%
	保存樹木や緑地に生息する生物	95	41.1%	50.5%	4.2%	1.1%	0.0%
	貝塚や集落跡、古墳や城館	187	36.4%	55.1%	5.9%	1.1%	0.5%
	仏像や絵画・工芸品	199	38.7%	52.8%	5.5%	1.0%	0.5%
	古文書や古地図	172	40.7%	50.6%	5.8%	0.6%	0.6%
	古い写真や書籍	125	37.6%	54.4%	7.2%	0.8%	0.0%
	明治～戦前までの建造物	118	39.8%	51.7%	5.1%	2.5%	0.8%
	戦争にかかわる遺跡・資料	103	41.7%	49.5%	5.8%	1.0%	1.0%
	戦後～高度成長期の産業の歴史	66	43.9%	43.9%	7.6%	1.5%	1.5%
	生業にかかわる道具	127	42.5%	48.0%	6.3%	1.6%	0.8%
イメージ別	文化財の イメージ別	275	38.2%	53.5%	6.5%	0.0%	0.4%
	市民共有の宝物	244	42.2%	52.5%	4.1%	0.4%	0.0%
	未来へ継承していくべきもの	106	18.9%	57.5%	13.2%	4.7%	1.9%
	大切だが、身近には感じない	11	18.2%	27.3%	18.2%	27.3%	0.0%
	厄介で面倒な存在	16	12.5%	68.8%	12.5%	0.0%	0.0%
古くて暗い、難しいイメージ	19	15.8%	42.1%	21.1%	10.5%	0.0%	
具体的なイメージなし	13	23.1%	30.8%	23.1%	7.7%	15.4%	
魅力別	文化財の 魅力別	40	87.5%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%
	とても魅力がある	168	38.7%	58.3%	2.4%	0.0%	0.0%
	まあまあ魅力がある	96	17.7%	61.5%	16.7%	4.2%	0.0%
	あまり魅力がない	13	23.1%	30.8%	23.1%	7.7%	15.4%

凡例



問 文化財等の保存・活用の方向性はどちらがいいと思いますか
 ≪複数回答可≫

全体で最も多いのは「市民がまちを誇りに思う郷土愛の育成」で47.3%、次いで「歴史文化の次世代への継承」47.0%、「地域ごとの特色を活かしたまちづくり」42.7%となっています。



その他意見としては、次の6件ありました。

- ・ 復元する。
- ・ 地域住民による持続的な活動、保全。
- ・ SNS。
- ・ 伝えたい人がやれば良い。
- ・ 求められる物、必要な物は何もしなくても継承されると思う。
- ・ 西尾市においては重要な物がない。

文化財接触機会別にみると、博物館等の文化施設で「次世代への継承」が、新聞・雑誌、年中行事等のイベントで「郷土愛の育成」「まちづくり」「次世代への継承」が、文化財の魅力別にみると、まあまあ魅力があると回答した人で「郷土愛の育成」「次世代への継承」が、次世代継承の重要別にみると、非常に重要だと思うと回答した人で「郷土愛の育成」「まちのブランド化」「次世代への継承」が全体よりも割合が高くなっています。

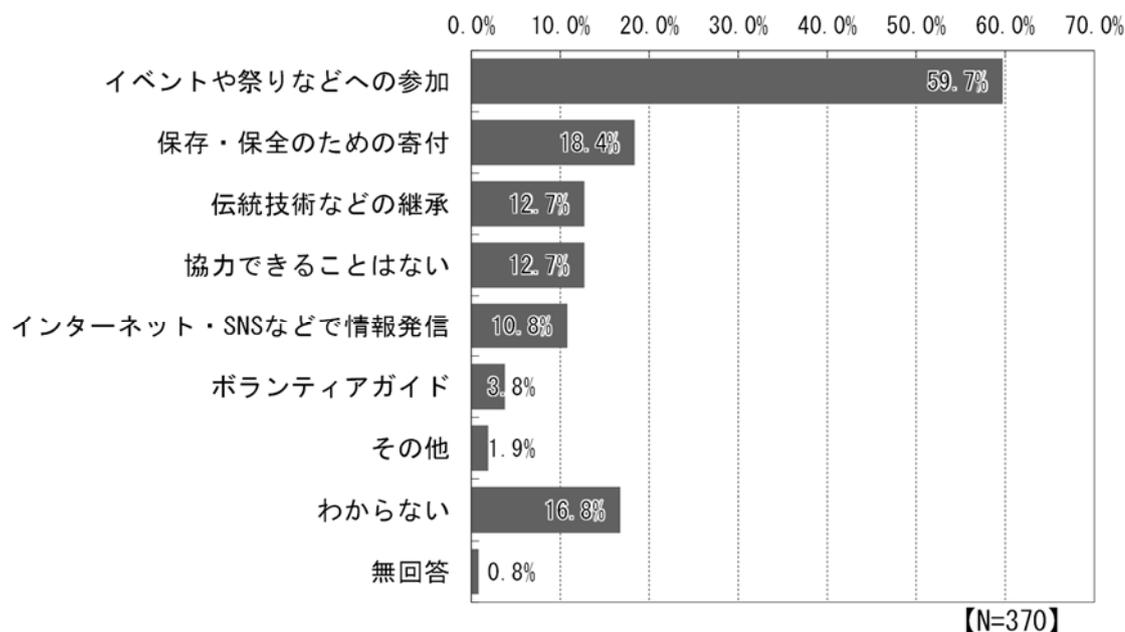
		N	郷土愛の育成	まちのブランド化	賑わい創出	まちづくり	次世代への継承	現状のまま保存
全体		370	47.3%	22.2%	34.1%	42.7%	47.0%	20.8%
性別	男性	183	47.5%	29.0%	33.9%	38.3%	42.6%	23.5%
	女性	183	47.0%	15.3%	34.4%	48.1%	51.4%	18.6%
年齢別	20歳代	23	52.2%	21.7%	52.2%	43.5%	30.4%	4.3%
	30歳代	26	46.2%	26.9%	46.2%	26.9%	30.8%	3.8%
	40歳代	52	48.1%	28.8%	26.9%	36.5%	36.5%	25.0%
	50歳代	54	38.9%	20.4%	25.9%	51.9%	53.7%	16.7%
	60歳代	85	45.9%	23.5%	35.3%	51.8%	49.4%	24.7%
	70歳代	92	52.2%	16.3%	32.6%	44.6%	54.3%	23.9%
	80歳以上	34	50.0%	26.5%	38.2%	23.5%	52.9%	29.4%
居住地別	西尾	81	53.1%	29.6%	43.2%	39.5%	55.6%	16.0%
	鶴城	24	45.8%	16.7%	25.0%	33.3%	50.0%	20.8%
	平坂	21	42.9%	19.0%	38.1%	42.9%	47.6%	28.6%
	寺津	12	41.7%	25.0%	25.0%	16.7%	41.7%	41.7%
	福地	20	55.0%	30.0%	35.0%	55.0%	45.0%	15.0%
	東部	19	63.2%	10.5%	26.3%	42.1%	31.6%	21.1%
	一色	64	42.2%	26.6%	32.8%	54.7%	43.8%	15.6%
	吉良	66	39.4%	15.2%	25.8%	33.3%	40.9%	31.8%
	幡豆	60	50.0%	20.0%	38.3%	51.7%	51.7%	16.7%
文化財接触機会別	観光旅行	243	52.3%	28.8%	39.5%	47.7%	54.3%	20.2%
	テレビやラジオ番組	220	53.2%	24.1%	40.5%	48.2%	55.5%	21.8%
	博物館等の文化施設	181	56.9%	28.7%	40.9%	51.9%	60.8%	20.4%
	新聞・雑誌	154	58.4%	22.7%	40.3%	55.8%	64.9%	22.1%
	年中行事等のイベント	128	60.9%	24.2%	39.8%	58.6%	58.6%	17.2%
	地域で行われる学習会・見学会	42	66.7%	31.0%	47.6%	59.5%	64.3%	28.6%
	インターネット	58	62.1%	37.9%	43.1%	56.9%	62.1%	20.7%
	学校の授業や行事	29	44.8%	27.6%	41.4%	62.1%	51.7%	20.7%
	読書	39	64.1%	41.0%	43.6%	66.7%	74.4%	10.3%
	関心はあるが機会はあまりない	55	50.9%	16.4%	27.3%	41.8%	52.7%	34.5%
	関心も機会もほとんどない	21	23.8%	9.5%	14.3%	9.5%	19.0%	38.1%
その他	5	40.0%	0.0%	40.0%	40.0%	40.0%	40.0%	
文化財の魅力別	とても魅力がある	40	70.0%	32.5%	52.5%	45.0%	65.0%	22.5%
	まあまあ魅力がある	168	59.5%	23.2%	36.3%	48.2%	58.9%	23.2%
	あまり魅力がない	96	32.3%	24.0%	37.5%	43.8%	34.4%	12.5%
	魅力がない	13	7.7%	15.4%	23.1%	23.1%	23.1%	30.8%
次世代継承の重要別	非常に重要だと思う	124	67.7%	32.3%	38.7%	47.6%	66.9%	18.5%
	どちらかといえば重要だと思う	194	43.3%	19.1%	33.5%	44.3%	43.8%	20.1%
	どちらともいえない	32	6.3%	6.3%	28.1%	28.1%	15.6%	31.3%
	どちらかといえば重要ではない	7	0.0%	14.3%	42.9%	0.0%	0.0%	42.9%
	まったく重要だと思わない	2	50.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%

全体と比較して、5～10ポイント以上の差があるもの(N値≥50)



問 文化財などの保存・活用であなたが協力できることを教えてください
 ≪複数回答可≫

全体で最も多いのは「イベントや祭りなどへの参加」で59.7%、次いで「保存・保全のための寄付」18.4%、「伝統技術などの継承」12.7%となっています。



その他意見としては、次の7件ありました。

- ・ プログラムとしてボーイスカウト活動で用いる。→次世代への継承と「子」と「大人（高齢者）」の繋がり。
- ・ 観光、見学。
- ・ アピール。
- ・ 地域の歴史をもっと知って伝える事。
- ・ 高齢、出来ることでしたい。
- ・ 過去より未来へ。
- ・ 納税者として協力している。

属性別にみると、50歳代で「イベントや祭りなどへの参加」の割合が全体よりも高くなっています。

		N	イベントや祭り などへの参加	保存・保全のため の寄付	情報発信	ボランティア イデオ	継承 伝統技術などの	協力を できないこと
全体		370	59.7%	18.4%	10.8%	3.8%	12.7%	12.7%
性別	男性	183	57.9%	19.1%	13.7%	4.4%	14.2%	15.3%
	女性	183	61.2%	18.0%	7.1%	3.3%	11.5%	10.4%
年齢別	20歳代	23	52.2%	21.7%	52.2%	8.7%	0.0%	8.7%
	30歳代	26	57.7%	3.8%	23.1%	3.8%	15.4%	15.4%
	40歳代	52	61.5%	5.8%	11.5%	5.8%	17.3%	13.5%
	50歳代	54	70.4%	25.9%	3.7%	3.7%	11.1%	11.1%
	60歳代	85	63.5%	17.6%	9.4%	2.4%	14.1%	9.4%
	70歳代	92	62.0%	22.8%	4.3%	2.2%	13.0%	13.0%
	80歳以上	34	32.4%	26.5%	0.0%	5.9%	11.8%	20.6%
職業別	正規雇用者	99	59.6%	14.1%	16.2%	5.1%	12.1%	11.1%
	非正規雇用者	66	59.1%	22.7%	10.6%	3.0%	9.1%	19.7%
	その他就業者	40	67.5%	22.5%	12.5%	0.0%	20.0%	10.0%
	学生	5	40.0%	20.0%	40.0%	20.0%	0.0%	20.0%
	無職	154	58.4%	18.8%	5.2%	3.9%	13.6%	11.7%
居住地別	西尾	81	67.9%	18.5%	9.9%	3.7%	11.1%	6.2%
	鶴城	24	66.7%	25.0%	12.5%	4.2%	8.3%	4.2%
	平坂	21	38.1%	38.1%	4.8%	0.0%	14.3%	4.8%
	寺津	12	41.7%	0.0%	25.0%	0.0%	8.3%	16.7%
	福地	20	60.0%	20.0%	5.0%	0.0%	10.0%	15.0%
	東部	19	73.7%	26.3%	10.5%	0.0%	10.5%	0.0%
	一色	64	53.1%	12.5%	15.6%	4.7%	21.9%	21.9%
	吉良 幡豆	66 60	56.1% 63.3%	16.7% 18.3%	3.0% 13.3%	3.0% 8.3%	15.2% 6.7%	15.2% 18.3%
居住歴別	3年未満	7	57.1%	42.9%	28.6%	0.0%	28.6%	0.0%
	3~10年未満	27	66.7%	3.7%	18.5%	3.7%	11.1%	11.1%
	10~20年未満	34	55.9%	11.8%	14.7%	0.0%	11.8%	8.8%
	20~30年未満	61	62.3%	23.0%	18.0%	9.8%	9.8%	9.8%
	30年以上	238	58.8%	19.3%	6.3%	2.9%	13.4%	14.7%
世帯構成別	単身	19	52.6%	26.3%	0.0%	10.5%	10.5%	15.8%
	夫婦のみ	86	61.6%	23.3%	8.1%	1.2%	15.1%	9.3%
	二世世代家族（親と子）	195	58.5%	17.4%	11.8%	5.6%	10.8%	12.3%
	三世世代家族（親と子と孫）	63	65.1%	11.1%	12.7%	0.0%	17.5%	19.0%

全体と比較して、5~10ポイント以上の差があるもの(N値≥50)

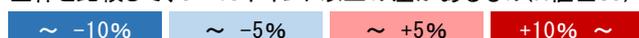
~ -10%	~ -5%	~ +5%	+10% ~
--------	-------	-------	--------

文化財・歴史への関心度別にみると、関心がある人は「イベントや祭りなどへの参加」「保存・保全のための寄付」「伝統技術などの継承」の回答が高くなっています。

次世代継承で「非常に重要」と回答した人は、「イベントや祭りなどへの参加」「保存・保全のための寄付」「伝統技術などの継承」で割合が全体よりも高くなっています。

	N	イベントや祭り などへの参加	保存・保全のため の寄付	情報発信	ボランティア イデオ	継承 伝統技術などの	協力できること はない	
全体	370	59.7%	18.4%	10.8%	3.8%	12.7%	12.7%	
文化財等の 関心度	関心がある	65	72.3%	30.8%	15.4%	7.7%	23.1%	3.1%
	どちらかといえば関心がある	141	62.4%	17.7%	10.6%	2.8%	14.9%	11.3%
	どちらかといえば関心がない	114	54.4%	16.7%	8.8%	2.6%	6.1%	15.8%
	関心がない	31	35.5%	6.5%	6.5%	6.5%	6.5%	32.3%
文化財に接する 機会別	観光旅行	243	67.5%	20.6%	13.2%	3.7%	12.8%	9.9%
	博物館等の文化施設	181	70.2%	24.9%	13.8%	5.5%	18.8%	7.7%
	年中行事等のイベント	128	82.0%	23.4%	10.2%	4.7%	20.3%	7.0%
	地域で行われる学習会・見学会	42	73.8%	31.0%	14.3%	9.5%	16.7%	7.1%
	学校の授業や行事	29	86.2%	13.8%	17.2%	6.9%	13.8%	6.9%
	テレビやラジオ番組	220	60.9%	21.4%	9.5%	3.2%	15.0%	11.8%
	新聞・雑誌	154	65.6%	27.3%	6.5%	3.9%	16.9%	9.7%
	インターネット	58	72.4%	20.7%	27.6%	3.4%	15.5%	12.1%
	読書	39	74.4%	28.2%	20.5%	5.1%	17.9%	2.6%
	関心はあるが機会はあまりない	55	49.1%	16.4%	5.5%	0.0%	12.7%	20.0%
関心も機会もほとんどない	21	23.8%	4.8%	4.8%	0.0%	0.0%	38.1%	
文化財の 魅力別	とても魅力がある	40	77.5%	32.5%	15.0%	7.5%	30.0%	7.5%
	まあまあ魅力がある	168	67.3%	23.2%	11.3%	4.2%	14.3%	7.1%
	あまり魅力がない	96	54.2%	12.5%	11.5%	2.1%	9.4%	17.7%
	魅力がない	13	38.5%	0.0%	7.7%	0.0%	0.0%	30.8%
次世代継承の 重要別	非常に重要だと思う	124	75.0%	29.0%	16.1%	4.8%	23.4%	3.2%
	どちらかといえば重要だと思う	194	55.7%	14.4%	7.2%	2.6%	8.2%	14.9%
	どちらともいえない	32	46.9%	6.3%	9.4%	3.1%	3.1%	28.1%
	どちらかといえば重要ではない	7	28.6%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	42.9%
	まったく重要だと思わない	2	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%
文化財の保存・活 用の方向性別	郷土愛の育成	175	70.3%	25.1%	13.1%	5.1%	18.9%	7.4%
	まちのブランド化	82	72.0%	23.2%	18.3%	9.8%	19.5%	7.3%
	観光振興などによる賑わい創出	126	73.8%	23.8%	15.1%	6.3%	15.1%	8.7%
	地域の特色を活かしたまちづくり	158	72.2%	20.3%	15.8%	3.8%	19.6%	8.9%
	歴史文化の次世代への継承	174	70.1%	28.2%	9.2%	3.4%	19.0%	8.6%
	現状のまま保存していく	77	49.4%	15.6%	9.1%	3.9%	10.4%	18.2%

全体と比較して、5～10ポイント以上の差があるもの(N値≥50)

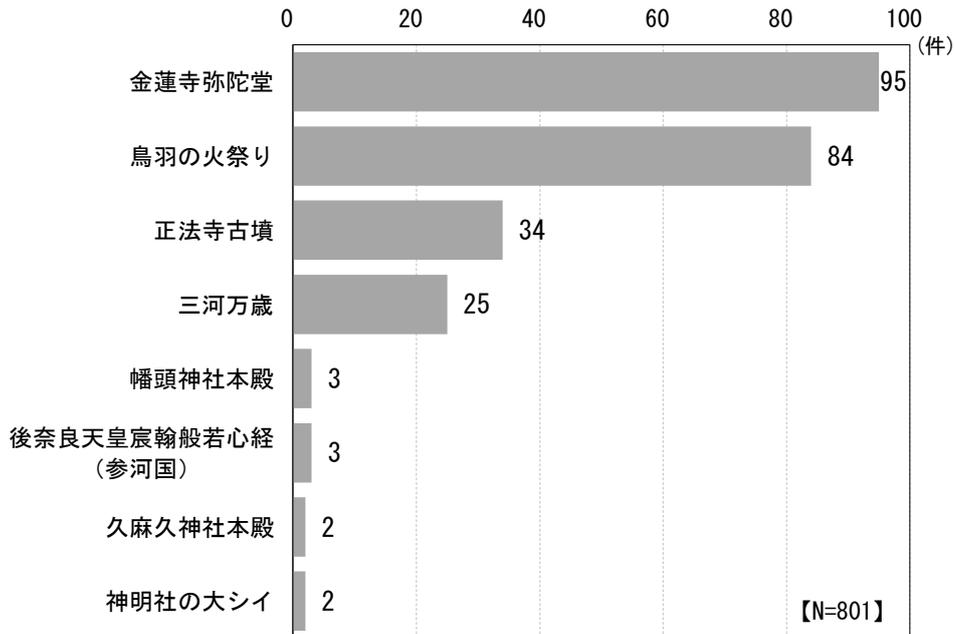


問 ご存じの文化財についておおよその場所と名称を教えてください。

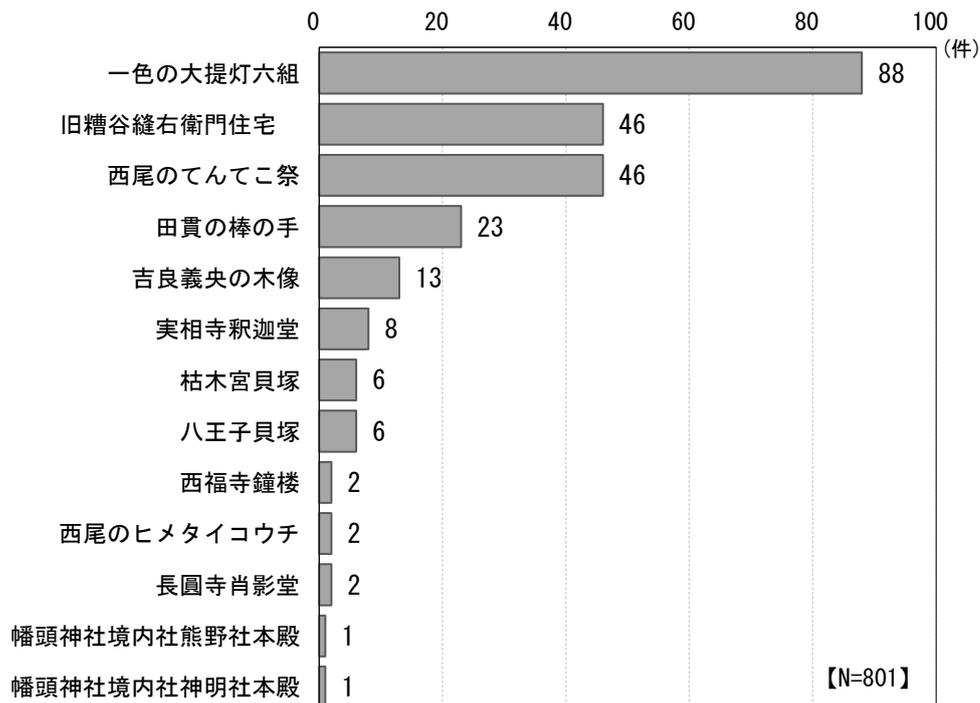
国指定の文化財は、金蓮寺弥陀堂、鳥羽の火祭り、県指定では、一色の大提灯六組、市指定では、西尾城跡で、それぞれ件数が多くなっています。

また、指定文化財ではないものの文化財を多く所有している華蔵寺や黄金堤などの未指定文化財の回答も多くありました。

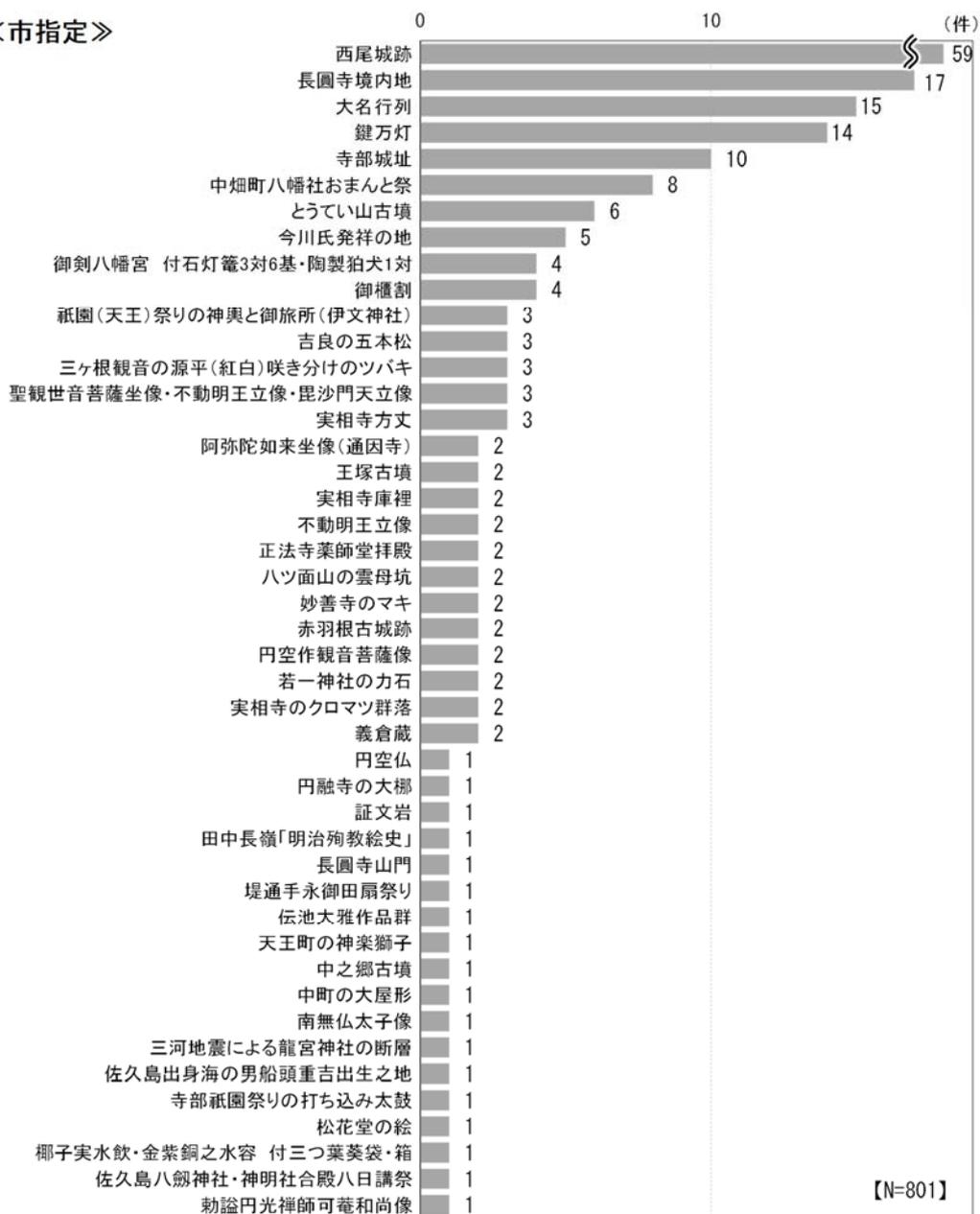
《国指定》



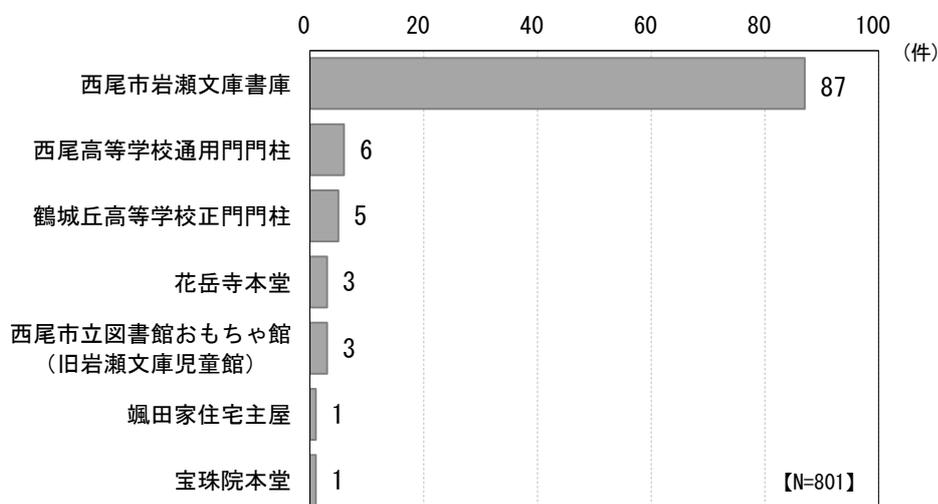
《県指定》



《市指定》



《国登録》



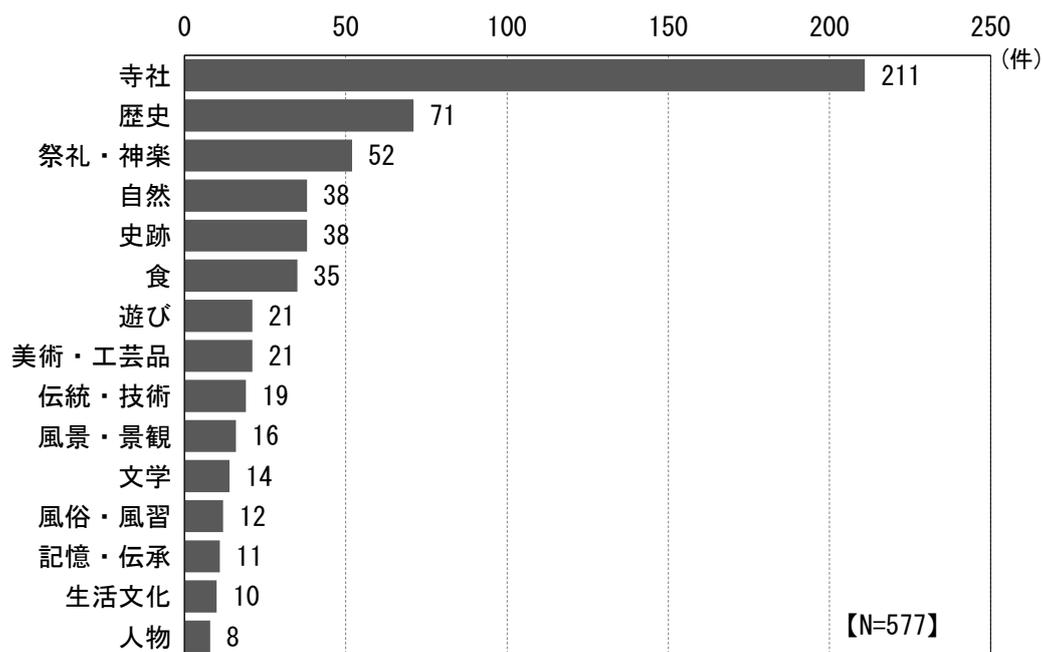
問 地域の『お宝』をご存知でしたら、どのようなものでも構いませんので教えてください

アンケート調査及びヒアリング調査結果から回答のあった内容を、15の分野に区分して整理を行いました。

表 分類一覧

区分	内容
寺社	歴史的建造物のうち、寺社のみ
歴史	寺社仏閣以外の歴史的建造物など。墓石なども含む。
史跡	城跡や古墳など建造物はないもの。碑も含む
美術・工芸品	仏像や絵などの美術品や工芸品。土器なども含む。
祭礼・神楽	伝統的な祭りや民俗芸能など。戦後の新しい祭りは除く。
風俗・風習	新しい、祭りやイベント、風俗・風習・習慣。主に戦後のイメージ。
伝統・技術	伝統的な技術、習わし。
記憶・伝承	民話や昔話、言い伝えなど無形のもの。文学作品以外の史料を含む
人物	地域に関係のある人物。作家除く。
生活文化	日常生活上の知恵や工夫など。
食	地域の食にまつまるモノ、コト。
遊び	地域の遊び、レクリエーションに関すること。公園やスポーツイベント含む。
自然	樹木や川、動物など。
風景・景観	ある地点からみる眺め。まちなみも含む。
文学	西尾にゆかりのある作家や文学。それにまつわるもの。

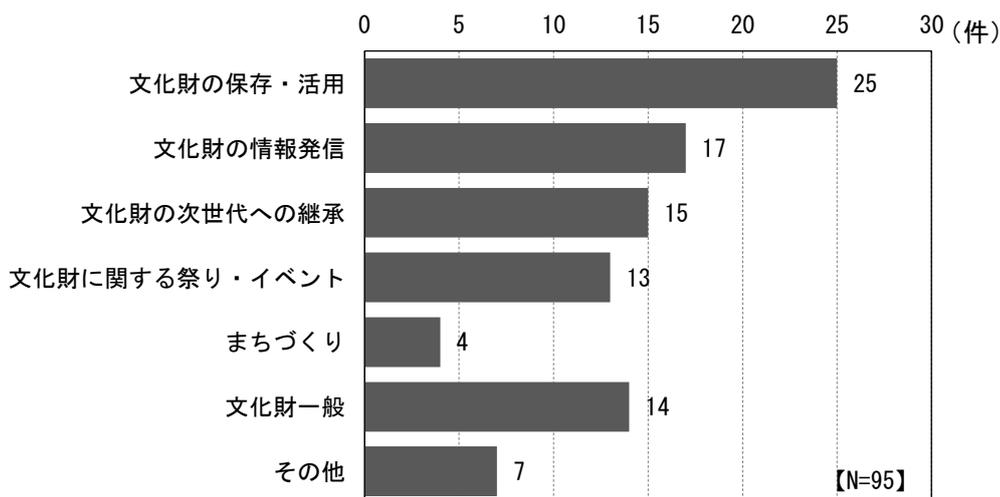
全体で、577件の回答がありました。全体で最も多いのは「寺社」211件、次いで「歴史」71件となっています。



4) 自由意見

問 文化財等に関してのご意見やご提案がありましたら、ご自由にお書きください

全体で、95件の回答がありました。全体で最も多いのは「文化財の保存・活用」25件、次いで「文化財の情報発信」17件、「文化財の次世代への継承」15件となっています。



① 保存・活用について

1	保護が無理なく行われていれば良い。ボランティアも良いと思いますが、保護・維持に関わっている人に給料を払っても良いと思います。
2	予算を重点配分してでも積極的に保存していった方が良いと思います。
3	地元に残されてきたものは、大切に今後の学びのために維持して行ってほしいと思います。
4	歴史上重要と思われるものは、取り壊される前にしっかり保存。子から孫の代へと保存して下さい。
5	取り壊しとなりましたが、井桁屋の様な建物をリノベーションしていくといいと思います。
6	例えば、ベトナムの都市と「姉妹都市」を結び、西尾の地場産業をベトナムの若い人に助けてもらう。とともに姉妹都市の文化・行事などを日本人の西尾市民にも知ってもらい、双方の市民の corporation and competition (協力と競争)を通じて西尾市政を活性化出来たらいいと思う。
7	各地区で従来からの伝統を守るという意識が薄れつつあるように思います。
8	地域の人々の助けが必要。それには市役所の協力が必要だと思います。住民からなにがなんでも徴収しなくても、もっと何かが必要。
9	文化財の保存、維持費が財政を圧迫しているなら、何でも残すのではなく、手放す選択も必要だと思う。税金を上げる要因の一つならなお反対です。西尾市は他の市と比べて税金が高い。たくさん仕事をして給料をたくさんもらってもその分税金でたくさん取られる制度にそもそも納得がいきません。
10	国・県・市町村も資金を出し保存していくべき。正法寺にある薬師如来像の建物がくずれかかっているが、修理されていない。
11	名古屋城木造再建→どえりゃー経済効果、こういう感覚で文化財を、町おこしや経済効果とからめて、保存利用することに反対します。市民が物質的満足ではなく、精神的に満足できるような市政を作っていただけるような、文化財保存・活用をしてほしいです。
12	生まれてからずっと西尾市に住んでいますが、文化財についてあまり知りません。小中学校で習ったかもしれませんが、全く覚えていません。たくさんの文化財があるのなら、活用できればいいですね。働き始めると日中を西尾市外ですごしてしまうので気楽に市政に関わることがあるといいなと思います。

13	保存にかかる経費を精査して減らしてほしいと思います。
14	自分自身は興味はあまりないです。大切なものだと思うので保存や継承活動については賛成です。たまに西尾市文化財の講演を開き面白いとは感じています、その程度ですが大切だなとは思っています。
15	尚古荘の書院にかかっている「尚古」という額は江戸時代の頼山陽の直筆ですが、調べる方法があると良いと思います。
16	歴史公園内の資料館の向かいに墓石があります。明治時代(?)くらいに台湾の学校の先生をしていた方だそうですが、どういのか調べてみると良いと思います。
17	尾崎士郎さん、茨木のり子さんなどもう少し身近に感じることができるといいですね。
18	東幡豆町の海岸には多種多様の多くの水鳥が飛来しています。近年、海岸を利用した水上バイクでのレジャーを楽しむものが増えています。ごみの散乱や不法投棄もあり、近隣住民への騒音もひどく迷惑しています。水上バイクの利用について、環境対策を考慮した規制を検討して頂きたい。
19	文化財、長く伝えられている、その地の営みなどは大切な文化・歴史だとは思いますが、残すにはお金、人の努力・協力などたくさんのエネルギーがいることを踏まえ、でもそれ以上に日本だけでなく世界、これからも続くであろう人類のためにも大切な道しるべだと思うので、残していきたい事です。
20	世界遺産など本当にこれがそうなのと思えるところもあったので、意外な所や物が案外貴重になるかもしれないので、古いものなどすべて壊して新しいものに変えるのではなく、保存しつつ共存できるのが一番良いのではないかと思います。
21	「はずの民話」(平成4年3月1日発行)、「むかしむかしはずの里」(平成11年3月1日発行)、この2冊の本は幡豆の文化財、先人のこころのぬくもり、文化の素地、親の心、子の心、集落での生きていくための知恵、またこれからの子供の教育に役立つ立派な本だと思います。多くの人に読んでもらいたいです。紙芝居、劇団の芝居、読み聞かせ、小学校の教科書等、利用価値があると思います。再発行してはどうでしょうか。安泰寺のシダレウメが老木(保存)。
22	文化財に対して保護したりして大切に守っていかねばならない。
23	個人所蔵の物品類は所有者の考え一つで廃棄も簡単に無造作に行われる。金銭的な面からも流出もあろうかと思われる。これらを防ぐために国・県・市の文化財指定を幅広く行うべき。市の予算上の制約があるなら、国の登録文化財制度と同様の市の登録文化財制度を考えたらどうだろうか。
24	一色の大提灯祭りについて、現在6組ありますが、中には少子高齢化の影響で氏子が減少し、祭りを維持するのが困難な組があると聞いています。伝統のある行事ですので市からの支援が必要と思います。
25	個その物を残す考えから、面として残す考えを持ってほしい。

② 情報発信について

1	触れ合う機会が少ないのもっとアピール等を積極的に行い、興味を持ってもらうことが大事だと思う。
2	資料館などで行っている歴史的な文化財などの展示に関する掲示ポスターをもっと多く大々的にアピールする。
3	私は50年近く繊維産業と身近にあったので、西尾市にあった繊維の歴史をみんなに知ってほしい。
4	市役所HPで個別の文化財は一覧で見やすく検索しやすいが、実際に現地を巡るのに役立つ周辺をまとめた(遺跡、文化財)「順路コース」の所要時間(目安)、料金等の案内が欲しい。
5	身近にありすぎて、何とも思わない場所が実は歴史的にすごい場所だったり、すごい人と関係があったりして驚くことがあるので、市としてもそういう場所をアピール、説明する機会を設けると良いと思う。以前、吉良町の歴史めぐりの講座を受講し、ガイドの人から歴史の話を聞いたり、お寺の住職さんから話を聞いて、とてもおもしろかったし、興味をもてた。旧の西尾地区でも開催してほしいと思った。
6	金蓮寺は国宝であるのに、PR不足なのか、人の訪れが少ない。色々な広報媒体を利用し、PRすべきではないか。
7	市の広報紙の一角に載せ、年に一度くらい公開して、市の文化財を幅広く市民に知ってもらい、関心を持ってもらう。
8	文化財及び歴史に対し未知のものが数多くあると思われるので、市内の文化財等の一覧表を広報又は文化財ガイド等を作成し、販売、配布して欲しいです。
9	市役所のPR不足。テレビ、新聞へ。

10	若者を中心にインターネット等の利用活動を促進し、全国にアピールする。
11	今回のアンケート結果も含めて冊子になったら各家庭に配布されるといいなと思います。
12	西尾の文化財への関心が薄く、思い当たることがなかった。広報などを通じて（今までも掲載、特集などあったと思いますが）知れたらいいなと思う。全ての文化財を紹介し終わるまで広報で特集を組んで欲しい。
13	決めたら多くの人に知ってもらわなければならない力が大切です。広報や地域の行事等、市の行事（文化財の日など）として市民の目にふれるようにしてください。そうでないとせっかくの文化財も光りません。
14	文化財のパフレットなどがあつたら一人でも見て回ることができるので。どんな西尾の文化財があるのかわからない。
15	一色大提灯祭りはもっと市外に発信させていきたい。
16	西尾市には国宝やうなぎや日本一の抹茶もあるのに、上手に市外・国外にPR出来ていないので、もったいない。もっと西尾のすごい所を知ってもらって、興味をもってもらえれば、もっと魅力あるまちになると思うし、元気のある住みたい市になると思う。
17	文化財として認められた事実として看板を設置するようにしてほしい。

③ 継承について

1	文化財、歴史的に重い物は次世代にも受け継がせて行くべき。無理ではなく、イベントや学習で伝えて行くべきだと思います。
2	戦時中、戦争の被害をのがれようと、西尾市の江原町の妙喜寺さんに他市からの児童が疎開していたと聞き、三河地震で建物が崩れ何人か亡くなったそうです。人間が起こした戦争の犠牲は地震でもおきています。ぜひ後世に語り継ぎ、子供達にも話して欲しいです。幸せな世の中で育てている子供達に知ってもらいたい悲しい現実です。
3	古い物ばかりでなく、新しい感覚の若者の意見、考え方がとても大切になってくると思います。古い物、事柄を違う面から見て、表現してくれることを期待します。
4	火災及び盗難などで文化財がなくならない対策などをしっかり行っていただいて、次世代につなげてほしい。
5	文化財は地域の宝ですので、次世代に伝えて行くべきだと思います。
6	私はほぼ毎日町内会の祭礼に氏子として参加していますが、祭礼のしきたりなどとても奥が深く、素晴らしい文化の一つと思っています。こういった中で次世代にその意義が受け継がれることはとても大切であると思っています。
7	高齢者が多いこの時代に文化財の保存、伝承に必要なサークル、ボランティア活動を推進する。
8	現在文化と若者文化の研究かな。車は若者にとっては単なる足です。電車歩きからスマホです。われらはさみしいです。今から体験文化かな。職人となる人を大切にします。
9	地域の文化財に対し高校生、中学生の勉強する機会が必要だと思います。
10	正直文化財というと堅苦しい印象があり、学校で習ったこと以外は分からないことが多いというのが実情です。しかし、歴史を伝えるもの、こと催し物などが未来へ残す受け継ぐことが大切だと思います。西尾市には価値のある物が知らないだけでたくさんあると思うので、分かりやすく授業をしたりPRして下さるといいと思います。頑張ってください。
11	子どもは学校で教えてもらいますが、大人はわかりません。役ばかり押し付けるようなやり方では維持することはできないと思います。
12	今まで守ってきた物はこれからも守り、受け継いでいってほしいと思います。
13	カラクリ BOOKS が良い活動をされている。
14	先祖から受けたものだから、大切にしたいが、歴史文化の継承を重んじ過ぎて、次世代に携わる人の生活で、状況を把握し、強制などで犠牲者が出ぬような配慮が必要と感じる。
15	文化財は地域や国が違って私どもの貴重な財産でもあります。知的文化、物質文化でも大切なものは後世に伝えなければなりません。一度失うとなかなか元に戻りません。私達が文化財を観て知って考え直す一役にもなります。

④ 祭り・イベントについて

1	おまつり等はキャッチで見ることが出来るので、わざわざ寒い場所には行こうとは思いません。
---	---

2	ほとんど一般の人はこの程度だと思います。もっとあればどんだんグループを集めて実際歩いて勉強させるとか、そんなイベントがあればと思います。市民の人々は暇な方が多くみえるので、楽しいイベントになるかと思ひますし、何があるか興味を持たれると思ひます。
3	子どもを持つようになり、お祭りやイベントにたくさん参加するようになりました。そういう時に西尾市の文化に触れられているように思ひます。そういう楽しいイベントがあれば、たくさんの人の目に触れると思ひるので、そういう機会を増やしていくと思ひます。私は教員ですが、子供たちは西尾市のこと、知らない事が多かったです。地域の人の関わりや、そういう場に行ったりすることが少ないのかもしれないと思ひます。魅力的なイベント等、みんなが行ったり触れたいようなことを考えていくといいかもしれない。
4	自分も含め、まだまだ西尾市の貴重な「文化財」を知らないのので、市を挙げてのイベント、行事等で知る機会を作っていってほしい。
5	吉良の塩は、赤穂の悲劇と関係があるという説があります。塩田は穏やかで、綺麗な海が条件だったと思ひます。今三河湾はかつてのような海でしょうか。農業用水には空き缶やビニールが無残に流れています。海の日には市民こぞって身近な川の清掃活動の日とする事が出来たらと希望します。
6	一色の大提灯まつりの提灯を上げる時や降ろす時を全国の人や海外の人に参加してもらえ参加型にすると良いと思ひます。吊るしてからは毎年何も変わらないので、それに日程を合わせて、魚ひろばで大きな海イベントなどを合わせて行う。天王祭のみこしなども行い、県外などから来た人たちにも下をくぐってもらうなど、8月の第4土日を一斉イベントの日にするのはどうか。あと、西尾祭りと米津の花火を合わせるなど（豊田のおいでんみために）。
7	観光イベントを毎月開催する。
8	見学会。
9	文化財を知らないことがたくさんあるので、イベントなどをして、もっと皆に知ってもらふべきだと思ひます。今若者に人気のマルシェなどをして知名度を上げるといいと思ひます。（城の庭？を利用したりして）
10	デジタル化して現地に行けば気軽にみられると良いと思ひます。それを利用してイベント（ゲーム）をして更に認知が広まると良いと思ひます。
11	私はどこに何があるのかはほとんど知りません。まち歩きツアーや御朱印ツアーなど人々が気軽に参加でき、また手ごろな金額で小さな子から大人まで参加できるようなものが増えるといいかなと思ひます。
12	あまり一般人が触れる機会が少ないと思ひますので、例えば人の多く集まる場所（大規模商業施設、チェーンの飲食店など）で、何かしらのイベントを行ってもらえればと思ひます。あとは、有名人を呼んで、まずは現地足を運びやすいようにして、ニュースになるようにすれば、もう少し関心を持つ方が増えるのではないかなと思ひます。
13	駅を中心に「歩く」をテーマに文化財等を廻ると良い。車の時代は既に終わっている。

⑤ まちづくりについて

1	西尾市の町並みで小京都というのは無理があると思ひます。
2	西尾市は城下町で、歴史も有り、魅力のある場所も食べ物も沢山あるので町歩きが楽しくなるような、若者も町で過ごすのがオシャレになるような店づくり、街づくりをして頂きたいと思ひます。
3	歴史や文化も大事だと思ひますが、それによって市民生活ががんじがらめになるのは違うと思ひます。半強制的な参加や寄付等ムダな箱物等、西尾は自然豊かな街です。それを生かした街作りをして欲しいです。
4	昭和30年代の岩瀬文庫には、猿、熊、クジャクなどがいました。漫画も一杯ありました。池もありました。売店もあり図書館と言うより公園でした。私の実家は西実（今の鶴城ヶ丘高校）の前だったので、猿をよく見に行きました。子ども心にごきげんな場所でした。旧西尾市の中心にりっぱな公園（市民の憩いの場所）が出来たら素晴らしいと思ひます。

⑥ 文化財一般について

1	今度、歴史公園内に出来る二之丸丑寅櫓が完成するのがとても楽しみです。西尾市の新名所になるでしょう。
---	---

2	歴史に触れる事は心にやすらぎ、落ち着きをもたらす。
3	文化財は後世に伝承すべきものだが、西尾市の文化財を対外的なうりにするには魅力が少ないと思います。
4	西尾城を早く造ってほしい。
5	近くに歴史資料館がありますが、入る人がほとんどありません。国宝もありますが、訪れる人がほとんどありません。
6	私は庶民の生活に密着した物、事が文化財と思う。
7	インターネットで調べましたら、こんなにたくさんあるのかと驚きました。
8	他県の有名な文化財については観光などを機会に調べることが多いが地元の事はあまり調べたことがなく、調べるきっかけとなった。これから回ろうと思います。提案ではありませんが、選出されて良かったと思います。
9	自分の住んでいる西尾にある文化や歴史について意識したことはありませんでした。今回のアンケートで西尾市の歴史文化財について考えたり、感じたり、意識するように自分もまずはそこから始めようと思いました。
10	多くの文化財を継承していく地域や西尾市が気の毒に思えます。継承していく人が必要だと思いますが、人口減で大丈夫なのかと。この計画に無理があるような気がします。
11	遺跡発掘など過去の産物を税金を使って多大な費用を使用しているが、昔がどうであろうと未来の開発に投資して欲しい。過去は過去、終わってしまったものを取り上げた所で何の価値があるのだろうか。税金の無駄遣いはやめて欲しい。
12	文化財の言葉は知っていましたが、興味がなかったので、知りませんでした。今も関心がない。
13	地域の行事(神社・お寺のお祭りや年末年始のお参り)等の運営を任される団体(町内会、子ども会、厄年会等)の方々の負担が大きく、維持が大変だなと思う事が多々あります。具体的な提案はありませんが、今後先細りにならないための計画は必要だと思います。
14	市内の建物が文化財かどうか明確にわからない。

4 所有者アンケート調査結果

(1) 調査の概要

1) 調査の目的

本調査は、文化財所有者の方の保存、活用に関する意向を把握し、計画に反映することを目的に実施しました。

2) 調査の方法

- 調査地域 西尾市全域
- 調査対象 市内に在住する指定文化財所有者 123 人
- 調査方法 郵送によるアンケート調査
- 調査期間 令和元（2019）年 11 月 20 日（木）～12 月 16 日（月）

3) 配布・回収状況

本アンケートの配布数と有効回収数は下記の通りとなっています。

配布数	有効回収数	有効回収率
123	64	52.0%

4) 報告書の見方

- 図表中の N とは、回答者総数のことです。
- 割合は N を 100.0% として算出し、小数点以下第二位を四捨五入したため合計が 100.0% にならない場合があります。

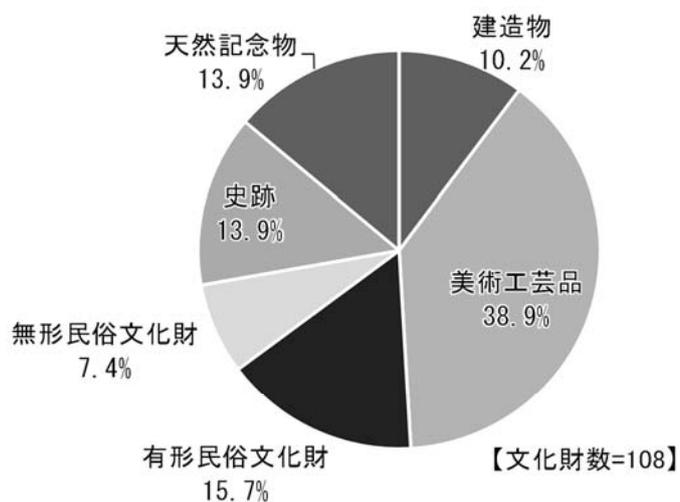
(2) 調査結果

1) あなたとあなたが所有している文化財について

問 所有している文化財の名称、分類、所在地及び保存状態を教えてください
(複数所有されている場合は、それぞれご記入ください)

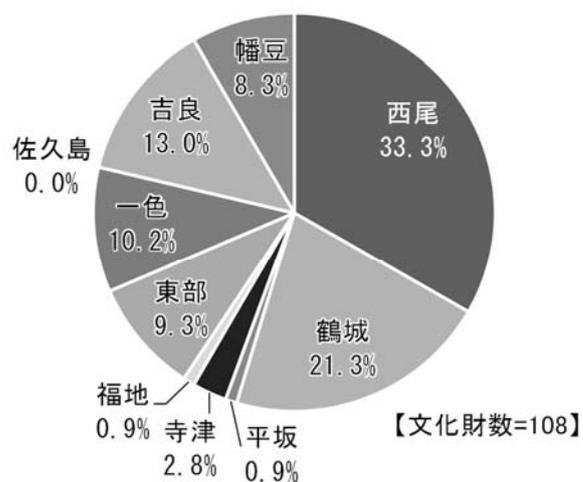
分類

全体で最も多いのは「美術工芸品」で38.9%、次いで「有形民俗文化財」15.7%、「史跡」、「天然記念物」13.9%となっています。



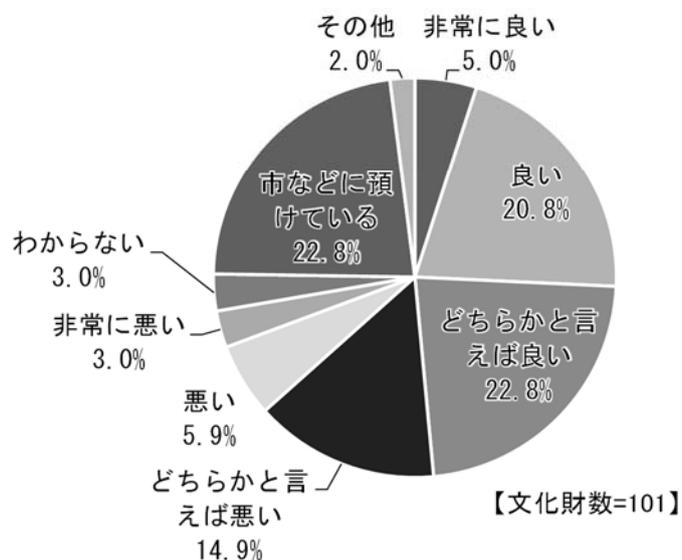
所在地

全体で最も多いのは「西尾」で33.3%、次いで「鶴城」21.3%、「吉良」13.0%となっています。



保存状態

全体で最も多いのは「市などに預けている」、「どちらかと言えば良い」22.8%、「良い」20.8%、となっています。



分類別保存状態

分類別に保存状態をみると、『悪い』（「どちらかと言えば悪い」、「悪い」、「非常に悪い」の合計）との回答は、「建造物」で55.6%、「天然記念物」で35.7%、「史跡」で33.3%と高く、保存状態に不安がみられます。

		文化財数	非常に良い	良い	どちらかと言えば良い	どちらかと言えば悪い	悪い	非常に悪い	わからない	市などに預けている	その他
全体		105	4.8%	19.0%	21.0%	14.3%	5.7%	2.9%	2.9%	21.9%	1.9%
分類	建造物	9	0.0%	11.1%	11.1%	44.4%	0.0%	11.1%	0.0%	0.0%	11.1%
	美術工芸品	39	0.0%	25.6%	15.4%	12.8%	7.7%	2.6%	2.6%	33.3%	0.0%
	無形文化財	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	有形民俗文化財	16	0.0%	18.8%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	62.5%	6.3%
	無形民俗文化財	8	37.5%	37.5%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	史跡	15	0.0%	20.0%	33.3%	20.0%	13.3%	0.0%	13.3%	0.0%	0.0%
	名勝	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	天然記念物	14	14.3%	7.1%	42.9%	21.4%	7.1%	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%

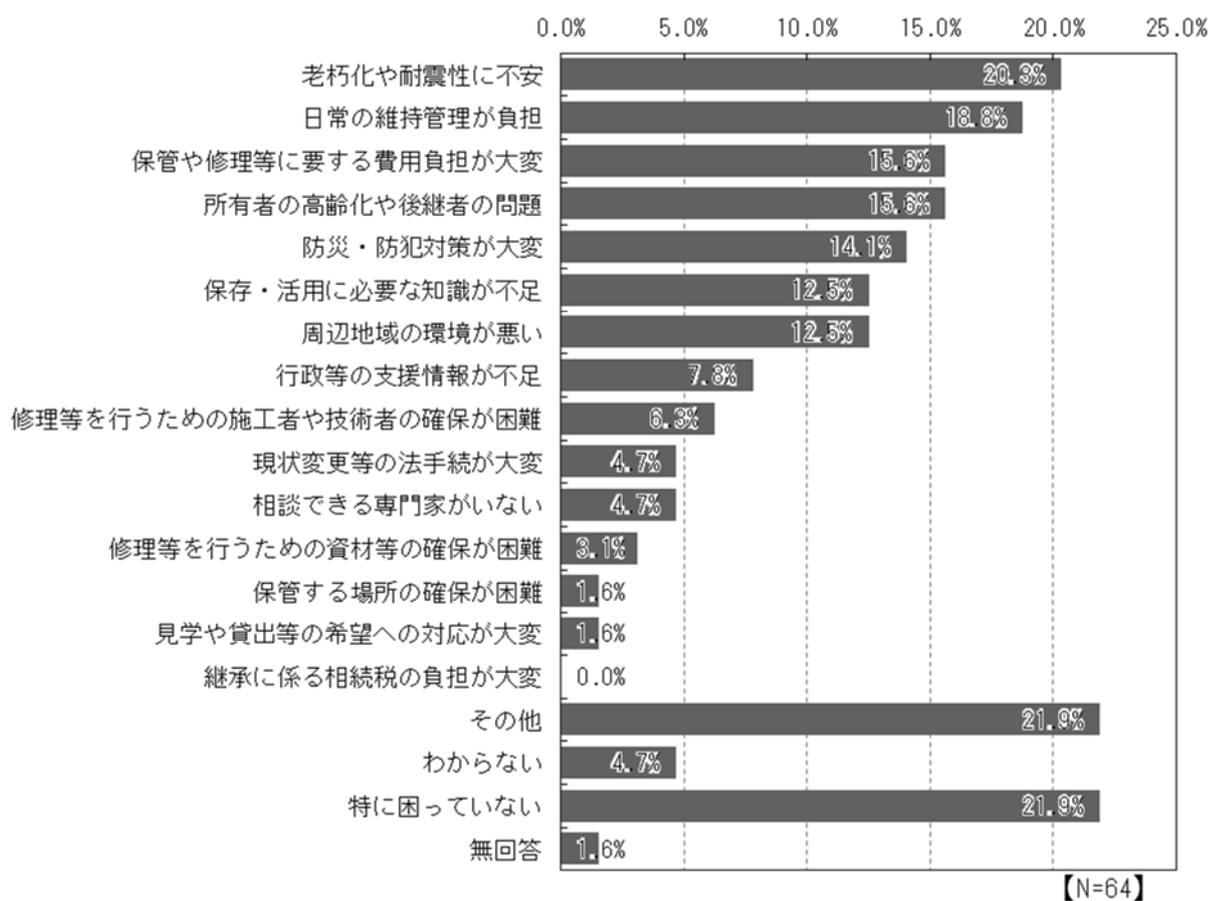
全体と比較して、5～10ポイント以上の差があるもの(N値≥10)

～ -10%	～ -5%	～ +5%	+10% ～
--------	-------	-------	--------

問 所有されている文化財の保存・活用にあたって、お困りのことはありますか
 ≪複数回答可≫

困っていることなかでは、「老朽化や耐震性に不安がある」20.3%が最も多く、次いで、「日常の維持管理が負担である」18.8%となっています。

また、「特に困っていない」と回答した人は2割となっています。



所有している文化財の分類別にみると、建造物所有者は、老朽性や耐震性をはじめ、多くの項目で困っているとの回答割合が高くなっています

美術工芸品の所有者は、「防災・防犯対策」、「日常の維持管理」で困っているとの回答が特に多くなっています。

有形民俗文化財の所有者は、「防災・防犯対策」で困っているとの回答が特に多くなっています。

無形民俗文化財の所有者は、「所有者の高齢化や後継者問題」で困っているとの回答が特に多くなっています。

史跡の所有者は、「日常の維持管理」、「保存・活用に必要な知識」、「周辺地域の環境」で困っているとの回答が特に多くなっています。

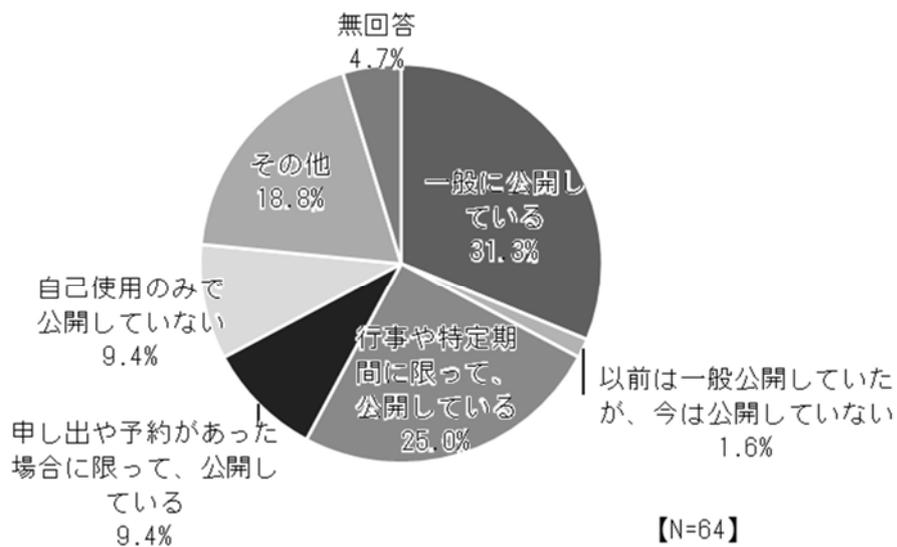
	N	防災・防犯対策が大変	日常の維持管理が負担	費用負担が大変	所有者の高齢化や後継者の問題	防災・防犯対策が大変	保存・活用に必要な知識が不足	周辺地域の環境が悪くなっている	行政等の支援情報が不足	施工者や技術者の確保が困難	現状変更等の法手続きが大変	相談できる専門家がいない	資材等の確保が困難	保管する場所の確保が困難	見学や貸出等の希望への対応が大変	特に困っていない	
全体	64	20.3%	18.8%	15.6%	15.6%	14.1%	12.5%	12.5%	7.8%	6.3%	4.7%	4.7%	3.1%	1.6%	1.6%	21.9%	
分類別	建造物	11	72.7%	63.6%	54.5%	18.2%	54.5%	18.2%	18.2%	9.1%	45.5%	27.3%	0.0%	45.5%	27.3%	27.3%	18.2%
	美術工芸品	42	57.1%	47.6%	50.0%	16.7%	54.8%	26.2%	4.8%	7.1%	40.5%	19.0%	0.0%	35.7%	19.0%	19.0%	19.0%
	無形文化財	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	有形民俗文化財	17	70.6%	58.8%	76.5%	0.0%	5.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	11.8%
	無形民俗文化財	8	0.0%	0.0%	12.5%	62.5%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%
	史跡	15	33.3%	26.7%	20.0%	20.0%	13.3%	26.7%	40.0%	6.7%	6.7%	0.0%	13.3%	6.7%	0.0%	0.0%	20.0%
	名勝	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	天然記念物	15	6.7%	13.3%	0.0%	20.0%	0.0%	13.3%	26.7%	13.3%	6.7%	13.3%	6.7%	0.0%	0.0%	0.0%	13.3%

全体と比較して、5～10ポイント以上の差があるもの(N値≧10)



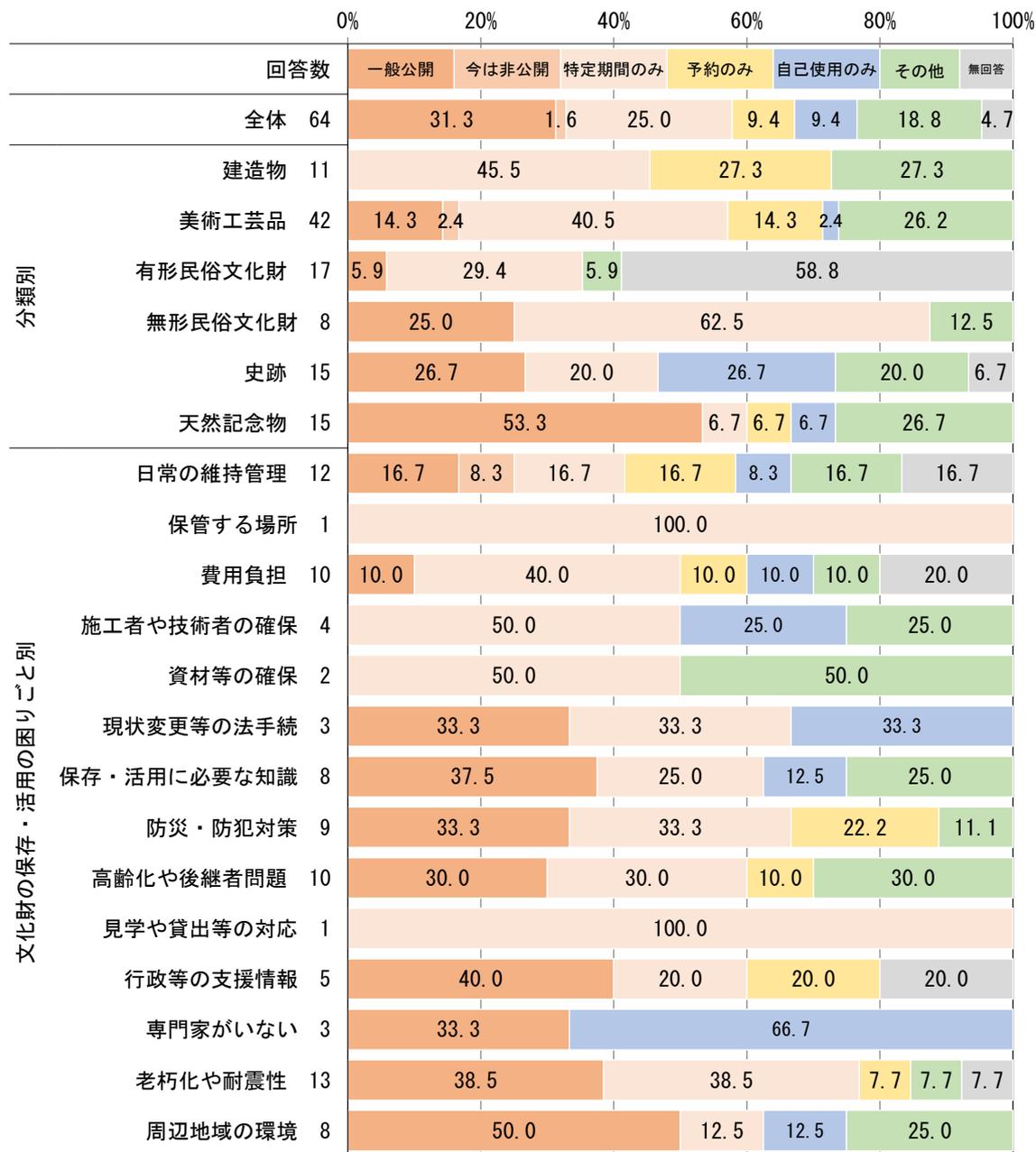
問 所有されている文化財をどのように活用されていますか

全体で最も多いのは「一般に公開している」で31.3%、次いで「行事や特定期間に限って、公開している」25.0%、「申し出や予約があった場合に限って、公開している」9.4%となっています。



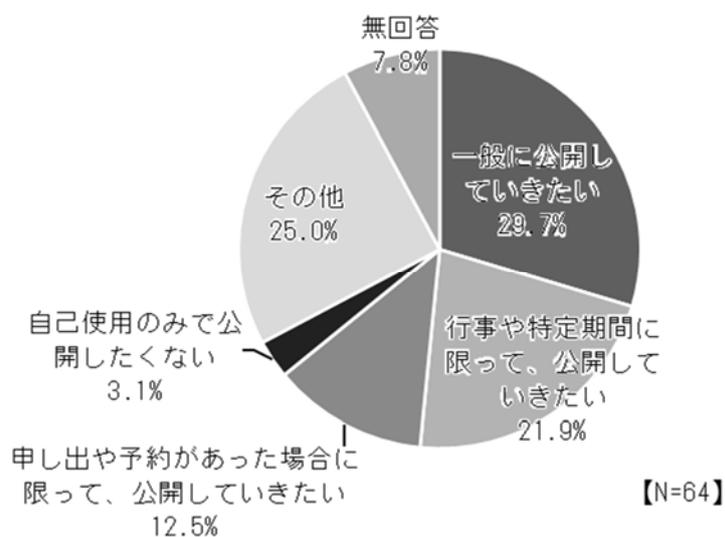
分類別にみると、美術工芸品の所有者では、日常の維持管理が大変で「以前は一般公開していたが、今は公開していない」の割合が高くなっています。

文化財の保存・活用別の困りごとを回答別にみると、「日常の維持管理が大変」と回答した所有者で「以前は一般公開していたが、今は公開していない」の割合が高くなっています。



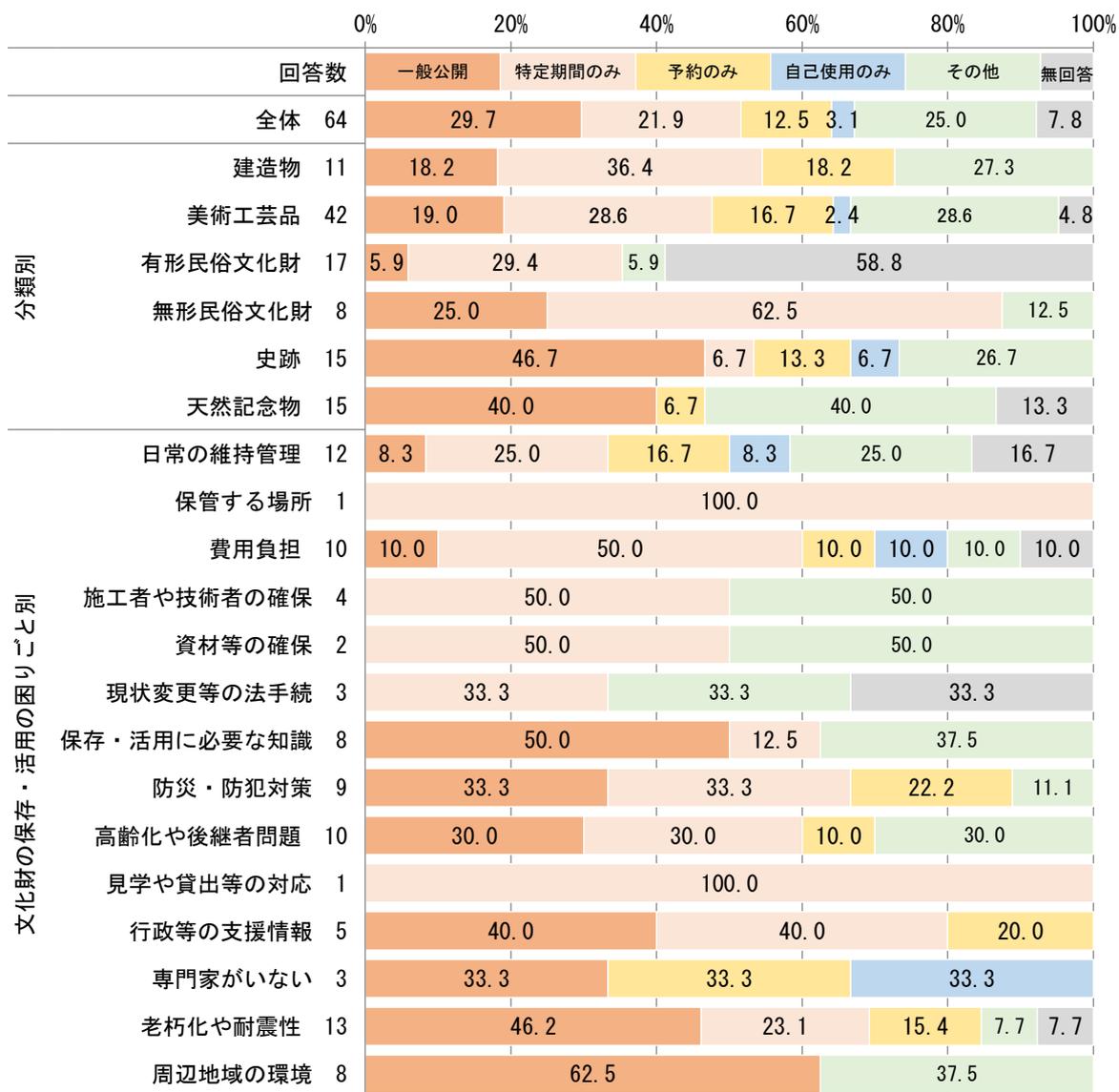
問 所有されている文化財について、今後の活用はどのようにお考えですか

最も多いのは「一般に公開していきたい」が29.7%、次いで「行事や特定期間に限って、公開していきたい」21.9%、「申し出や予約があった場合に限って、公開していきたい」12.5%となっています。



分類別にみると、史跡、天然記念物の所有者は、「一般に公開していきたい」との割合が高くなっています。

文化財の保存・活用別の困りごとを回答別にみると、「老朽化や耐震に不安」と回答した所有者で「一般に公開していきたい」の割合が高くなっています。



分類別にみると、史跡の所有者は「維持管理の費用の援助」、「修繕の専門家や材料などの情報公開」の割合が全体よりも高くなっています。

文化財の保存・活用別の困りごとの回答別にみると、「日常の維持管理が負担」と回答した所有者は、「維持管理の費用の援助」、「修繕専門家や材料などの情報公開」、「技術的な助言」、「現状変更等に係る法手続き等の簡素化」の割合が全体よりも高くなっています。

「費用負担が大変」と回答した所有者は、「維持管理の費用の援助」、「修繕専門家や材料などの情報公開」の割合が全体よりも高くなっています。

「所有者の高齢化や継承者の問題」と回答した所有者は、「高齢化、後継者問題に対する支援」の割合が全体よりも高くなっています。

「老朽化や耐震性に不安」との所有者は、「維持管理の費用の援助」、「技術的な助言」の割合が高くなっています。

		N	維持管理の費用の援助	修繕専門家や材料などの情報公開	各種支援制度の情報提供	高齢化、後継者問題に対する支援	技術的な助言	現状変更等に係る法手続き等の簡素化	特に必要ない
全体		64	45.3%	4.7%	3.1%	12.5%	12.5%	4.7%	15.6%
分類別	建造物	11	81.8%	0.0%	9.1%	0.0%	18.2%	9.1%	9.1%
	美術工芸品	42	61.9%	4.8%	14.3%	0.0%	23.8%	7.1%	9.5%
	無形文化財	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	有形民俗文化財	17	88.2%	0.0%	5.9%	0.0%	0.0%	0.0%	5.9%
	無形民俗文化財	8	62.5%	0.0%	0.0%	62.5%	12.5%	0.0%	12.5%
	史跡	15	60.0%	13.3%	0.0%	6.7%	6.7%	0.0%	20.0%
	名勝	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	天然記念物	15	40.0%	0.0%	0.0%	13.3%	20.0%	13.3%	6.7%
	文化財の保存・活用別の困りごと	日常の維持管理が負担	12	58.3%	16.7%	8.3%	8.3%	25.0%	16.7%
保管する場所の確保が困難		1	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
費用負担が大変		10	100.0%	30.0%	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%	0.0%
施工者や技術者の確保が困難		4	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	25.0%	25.0%	0.0%
資材等の確保が困難		2	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%
現状変更等の法手続きが大変		3	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	0.0%
保存・活用に必要な知識が不足		8	62.5%	12.5%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	12.5%
防災・防犯対策が大変		9	77.8%	0.0%	11.1%	0.0%	33.3%	11.1%	0.0%
所有者の高齢化や後継者の問題		10	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	10.0%	0.0%	20.0%
継承に係る相続税の負担が大変		0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
見学や貸出等の希望への対応が大変		1	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
行政等の支援情報が不足		5	100.0%	20.0%	20.0%	20.0%	40.0%	20.0%	0.0%
相談できる専門家がない		3	100.0%	33.3%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%
老朽化や耐震性に不安		13	76.9%	0.0%	7.7%	0.0%	23.1%	7.7%	7.7%
周辺地域の環境が悪くなっている		8	50.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	12.5%	12.5%

全体と比較して、5～10ポイント以上の差があるもの(N値≥10)



2) 地域のお宝について

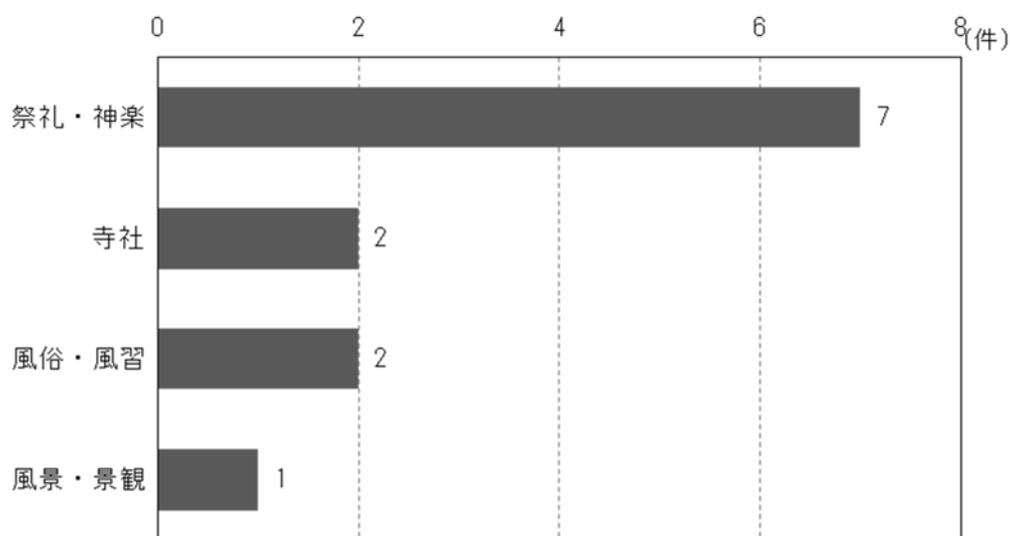
問 文化財には、地域にとって重要で子どもたちに継承していくべきと思われる文化的なモノ、コトなども含まれます。そのような地域の『お宝』をご存知でしたら、どのようなものでも構いませんので教えてください

アンケート調査及びヒアリング調査結果から回答のあった内容を、15の分野に区分して整理を行いました。

表 分類一覧

区分	内容
寺社	歴史的建造物のうち、寺社のみ
歴史	寺社仏閣以外の歴史的建造物など。墓石なども含む。
史跡	城跡や古墳など建造物はないもの。碑も含む
美術・工芸品	仏像や絵などの美術品や工芸品。土器なども含む。
祭礼・神楽	伝統的な祭りや民俗芸能など。戦後の新しい祭りは除く。
風俗・風習	新しい、祭りやイベント、風俗・風習・習慣。主に戦後のイメージ。
伝統・技術	伝統的な技術、習わし。
記憶・伝承	民話や昔話、言い伝えなど無形のもの。文学作品以外の史料を含む
人物	地域に関係のある人物。作家除く。
生活文化	日常生活上の知恵や工夫など。
食	地域の食にまつまるモノ、コト。
遊び	地域の遊び、レクリエーションに関すること。公園やスポーツイベント含む。
自然	樹木や川、動物など。
風景・景観	ある地点からみる眺め。まちなみも含む。
文学	西尾にゆかりのある作家や文学。それにまつわるもの。

全体で12件の回答がありました。全体で最も多いのは、祭礼・神楽7件、次いで、寺社、風俗・風習が2件となっています。

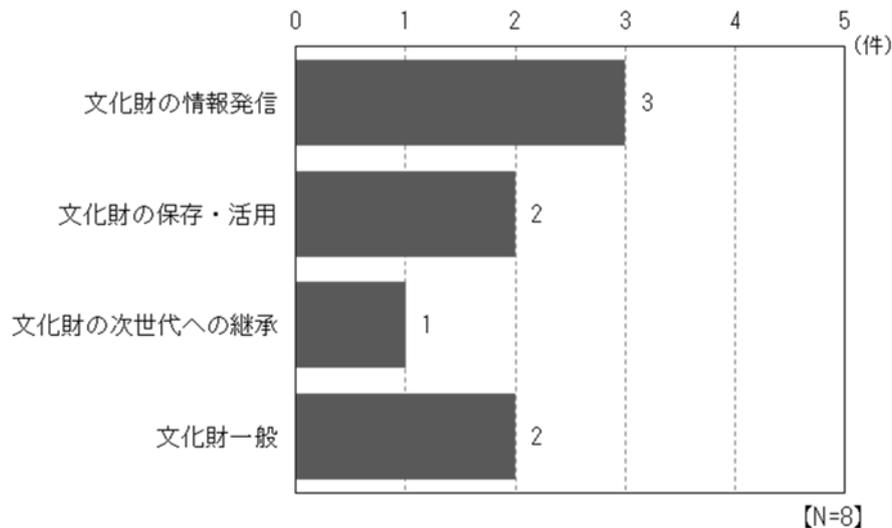


【N=12】

3 自由意見概要

問 文化財等に関してのご意見やご提案がありましたら、ご自由にお書きください

全体で8件の回答がありました。全体で最も多いのは、情報発信3件、次いで、保存・活用2件、継承1件となっています。



① 情報発信について

1	当方の田にいる虫がどのような珍しいものか良く知りません。天然記念物といっても、その虫がどれほど珍しいのか全く知りません。どんな良い虫か(?) 教えてください。見た事ありません。見に行った事もないので。
2	西尾市民であっても、西尾のどこにどのような文化財があるのか、いつ公開されているのか等ほとんど知らないのが現状です。公報等で定期的に紹介されると、市民の関心が高くなり、将来の保存活用に役立つのではないかと思います。
3	私の所は古墳ですが、山が荒れて人も入らないようになっている。H23年に市の方から通知があり、初めて知ったような次第なので。別に調査等もされてないと思うが、この古墳がいつの時代でどのような人物のものか知りたいです。

② 保存・活用について

1	住職任命についての手続きが終わったら、史跡指定について土地所有者の承諾を得る件について、方法を考えたいと思っている。本堂・庫裡・宝蔵の登録有形文化財への登録や書画の修復も行っていきたいと考えている。
2	三河地方の西尾市は温暖で、三河湾ということもあり、海が穏やかで、海の幸山の幸が豊かで古くから人々が住み着いていた場所です。歴史も古く、様々な歴史的な文化財があります。この点在する文化財の点と点を線で結ぶ作業をしてみたいかがでしょうか。時代順に並べて、なぜ造ったのか。なぜ残っているのか。その時代の人の営みや考え方、歴史的背景や言い伝えや言われなどを繋げてまとめて冊子を作る。そして市民や観光者に配布して興味を持ってもらう。内容も読んだ人が想像をふくらませやすいもの、分かりやすいものにして西尾地域に好奇心や興味を持ってもらえれば、また研究も進み、未だ埋もれたままの西尾地域の歴史を掘り起こすキッカケになるのではないのでしょうか。歴史の古い地域なのでまだまだ一般には知られていない事や物がたくさんあると思います。そういうものをひとつずつ見つけてつなぎ合わせて多くの人に知ってもらおう。そうすることによって西尾市の伝統文化が全国に知れ渡り、歴史の町、観光の町として知名度が上がるのではないのでしょうか。

③ 継承について

- | | |
|---|--|
| 1 | 山門は昭和 13 年建立であるが、三河において立派な山門のひとつである。後世にその姿と技術を伝えていきたい。 |
|---|--|

④ 文化財一般について

- | | |
|---|--|
| 1 | 生活の中で文化財を通して、夫々の時代の嗜好、時代の流れがつかまえられるのは楽しい事です。 |
| 2 | 市は歴史・文化に疎い？西尾は抹茶しかないのかな。 |

5 ヒアリング等による地域で残したい歴史・文化資源

	西尾地区	一色地区	吉良地区	幡豆地区	市内
寺社 建造物の寺社	○実相寺⑩、実相寺本堂① ○久麻久神社⑫ ○伊文神社⑬、◇義倉蔵 ○紅樹院③ ○天竹神社③ ◎養寿寺④ ○下今川白山神社① ○東向寺② ○康全寺② ○八幡社② ○常福寺② ○西尾城八幡神社①、わに口① ○金石神社① ○阿弥陀院① ○盛巖寺① ○源空院① ○宿縁寺① ◇唯法寺 ◇崇覚寺 ○西尾本町寺町の寺①◇無住の寺院	○諏訪神社⑤、◇本殿、◇拝殿 ○佐久島八剱神社② ○親宣寺② ○満国寺② ○赤羽別院親宣寺② ◇阿弥陀寺 ◇正念寺 ◇恵比寿社等の神社 ◇東本願寺別院の山門	○華蔵寺④ ○幡頭神社⑫ ○花岳寺⑨ ○正法寺⑥ ○宝珠院④ ○源徳寺② ○西福寺② ○専長寺② ○海蔵寺① ○白山神社① ○瀬門神社① ◇伴五郎地蔵 ◇黄金地蔵堂 ◇穴弘法 ◇地蔵堂	○見影山穴弘法⑥ ○妙善寺⑥ ○鳥羽神明社③ ○安泰寺② ○中風寺①	○各地区の神社、仏閣等①
歴史 寺社以外の建造物	○西尾市歴史公園⑫ ○尚古荘⑪ ○旧近衛邸① ◇清岸寺水野家住宅 ◇榊原の陣屋 ◇平井家住宅 ◇足軽長屋 ◇妙満寺の東側の住宅 ◇城下町 ○平坂港① ○呉服屋① ○西尾城二之丸丑寅櫓①	○千石船の停船杭① ◇船の看板がある家 ○徳倉家住宅① ○杉浦家住宅 ◇問屋の松本家◇伊豆石の墓 ◇安土桃山時代の墓石 ◇西空寺の供養塔の石	○黄金堤⑮ ○吉良上野介義央墓③ ○吉良家ゆかりの墓①○清水一学の墓② ○吉良の仁吉の墓⑥ ◇糟谷邸の庭 ○白瀬南極探検隊長墓② ○吉良歴史民俗資料館①	◇倉知昭三家 ○蒸気機関車②	
史跡・遺構 城跡や古墳など建造物がないもの	○西尾城跡やぐら② ○毘沙門遺跡① ○古墳時代の西尾① ○志貴野廃寺跡① ○本願寺の製瓦跡① ○釜田貝塚①	○佐久島古墳群④ ◇古墳 40 か所 ◇二号古墳 ◇阿弥陀寺の船頭の慰霊碑 ◇千石船の痕跡を探れる遺物	○東条城跡⑨ ○小牧陣屋跡② ○吉良公史跡① ○八幡山古墳① ○瀬門古墳① ○善光寺沢南古墳① ○吉良城址① ◇継植松碑銘碑 ◇「サキマカサキ道」	◎矢穴石② ○寺部城址① ○鳥羽城跡① ○殉国七士廟① ○小野小桜屋敷跡① ◇刻印のある石	○各地域の古墳①
美術・工芸品 美術品や工芸品、民俗文化財など	○赤地蔵① ○子供地蔵① ○白鳳仏① ○実相寺境旧鉢① ○夜泣き地蔵① ○矢田のおかげん（寝釋迦他）② ○刈宿の大仏⑥	◇勾玉 ◇山の神の蔵の土器 ◇須恵器 ◇弥生土器 ◇有田焼の茶碗 ◇有田焼の仏壇 ◇室町時代の瓦 ◇三十三観音 ◇三河仏壇ができる前の仏壇 ○佐久島のアート①	○小山田地蔵① ○金蓮寺阿弥陀三尊像① ○赤馬① ◇徳雲寺寺宝	○石塚いぼ地蔵① ○三ヶ根観音① ○比島観音① ○半僧坊①	
祭礼・神楽 伝統的な祭や民俗芸能など	○棉祖祭⑦ ○西尾祇園祭⑥ ○戦いの装い① ○天狗祭① ○神楽③ ○神楽演奏① ○浦安の舞③ ○獅子舞① ○祭囃子① ○お薬師さん① ◇長圓寺の祭り ◇米津神社のお祭り	○諏訪太鼓② ○一色提灯神楽楽曲① ○佐久島の島太鼓① ○佐久島の伝統芸能① ◇御神楽の太鼓 ◇神社の祭りでの演奏 ◇太鼓保存会 ◇一色の太鼓 ◇潮太鼓	○獅子舞（子獅子舞、親子獅子舞）⑦ ○祭囃子① ○馬駈神事① ○ちりから① ○神楽① ○打ち込み太鼓③	○寺部祇園祭② ○祭礼の太鼓の楽曲① ○各地域の太鼓（奏法、譜面など）①	○寺の行事① ○各地域の祭り⑦ ○太鼓保存会②
風俗・風習 新しい祭やイベントなど	◇地区開催の盆踊り	○鰻供養祭①	○吉良花火大会③ ○人生劇場公園① ○ハワイアンフェスティバル①	○かぼちゃサミット⑤ ○はずストーンカップ② ○三ヶ根山あじさいまつり①	
伝統・技術 地域特有の技術、習わし	○きらら鈴② ○陶芸① ○綿打ち① ○天竹町の綿① ○抹茶作り① ○可搬式ポンプ① ◇レインボーバラ共選組合の水耕栽培	○木遣② ◇雛形提灯① ◇ガラ紡	◎塩づくり体験③ ○報恩講の子供助音① ◇相撲文化 ◇綿くり	○角立て網漁法① ○ダンペイ船① ○セリ矢①	○茶畑、茶摘み③ ○潮干狩り① ○縄の作り方①
記憶・伝承 民話や昔話、言い伝えなど	○大河内家の歴史① ◇大河内氏中心の文化 ○13号台風記念碑② ○明治22年水害碑① ○西尾歴史本全般① ○なぞかけ松① ◇無量寺と家康の関わり ◇海運の中心地 ◇代官の居住地 ◇清和天皇の悠紀齋田の地 ◇かぞえうた ◇民話	◇大浜騒動 ◇各町村の特有の苗字 ◇地名と宗教の歴史 ◇東海松島 ◇海運の入口 ◇おさかい地区 ◇横浜の居留地への絹の輸送 ◇山岡鉄舟と祭り ◇明治時代の民間活動 ◇方言	◇神明社棟札 ◇鎌倉時代の棟札 ◇秀吉の最後の戦い場所 ◇大浜騒動 ◇金石文 ◇山分万吉相撲資料 ◇相撲番付等の版木 ◇標石「水死碑」 ◇土俗信仰 ◇最後の鷹狩	◇方言 ○地域の昔話①	

凡例 ○：アンケート調査結果からの意見（丸数値はアンケートの意見数）、◇：ヒアリング調査結果からの意見、◎：アンケート、ヒアリングの両方から出た意見

注：表中の名称は、アンケートの表記をそのまま記しています。（別表現で重複するものや名称の誤り等もあります。）

	西尾地区	一色地区	吉良地区	幡豆地区	市内
人物 地域に関係のある人物	◇九条兼実 ◇酒井氏 ○稲垣一郎氏の銅像①	◇徳川家康の位牌(高須家所蔵) ◇西尾藩藩主松平則康 ◇関信三 ◇雲英晃耀と占部観順の大論争	○吉良公② ◇颯田本眞尼 ◇豊年満作 ○吉良上野介義央公毎歳忌② ○富子夫人海歳忌① ◇星野仙一の祖父		
生活文化 日常生活上の知恵や工夫など	○交通整理のお人形① ○西尾小学校校庭のスタンド席①	○空き家① ◇漁協の放送の事前放送	◇王井戸		○七五三の祝い① ○入学祝① ○厄払い①
食 地域の食にまつわるモノ、コト	○抹茶⑥ ○和菓子① ○鬼まんじゅう① ○あいや本店① ○お好み焼① ◇茶産業	○鰻④ ○あさり① ○地豆(落花生)の塩ゆで① ○一色さかな広場① ◇大あさり ◇ウミウ ◇玉ねぎ ◇ヤマモモ ○えびせんべい② ○えびおぼろ押寿司① ◇グミ ◇まあさり ◇佐久島のミカン ◇キャベツ ◇蚕 ◇桑の実		○油菓子(1) ○いちご(1)	○押寿司⑥ ○いがまんじゅう③ ○煮味噌① ○杵での餅つき① ○北京飯① ○家庭料理、味付け等① ○地豆(落花生)の五目煮①
遊び 地域の遊び、レクリエーション	○天野ゲーム博物館② ○山下会館公園遊具①	◇しっぺ駒 ◇ビー玉遊び	○町民体育大会①	○カッチンコ玉遊び① ○竹鉄砲遊び① ○メンコ遊び(パッタン)① ○愛知こどもの国② ◇縄跳び歌 ○ターザン遊び① ○プロペラ飛行機① ◇小藻岩に登る子ども達 ◇鉄道唱歌	○ゴム縄飛び① ○竹とんぼ① ○天下落とし① ○ハンカチ落とし① ○かんけり① ○陣取り① ○綾取り① ○竹馬① ○独楽① ○石けり① ○かくれんぼ①
自然 動植物や山野、河川、海など	○平原の滝③ ○八ツ面山② ○憩の農園①	○佐久島③ ○島ネコ① ○旧弓取川の榎の木① ○一色排水路の鯉① ○ニュートンのリンゴ① ○メンデル葡萄① ◇赤羽根の松 ◇地層 ◇スナビキソウ ◇アサギマダラ ◇ハマユウ	○吉良温泉① ◇曬稿(さこう)の松 ◇四極山 ◇玄法山	◎八貫山② ○寺部海岸① ○豆石① ○タノキ① ○8番組ホオノキ① ○スダジイ① ○森組のクロマツ① ○見影山穴弘法のツバキ並木① ○洲崎神明宮のクガネツチ① ○王塚古墳のクガネツチ① ○鳥羽神明社のアカシ① ○三ヶ根観音のツバキ① ○安泰寺のシダレウメ① ○アサギマダラ飛来地① ○亀岩① ◇幡豆石	○三河の海、三河湾①
風景・景観 ある地点からみる眺め	○稲荷山茶園公園④ ◎小京都② ○西尾城下町① ○本町通の路地裏、町並み① ○八ツ面山公園① ◇八ツ面山を中心とした景観 ◇肴町の城下町 ◇大手門近辺の景観 ◇実相寺の景観 ◇平原の景観 ◇文化財周辺の環境	○佐久島渡船からみる海原① ◎佐久島の黒壁② ◇黒壁周辺の自然環境を考えた道 ◇自然と住宅の調和 ○一色大橋① ○別院内風景①		○名鉄西蒲線の風景① ○三ヶ根山からの風景① ○前島・沖島の風景① ○三ヶ根山の夜景①	
文学 西尾にゆかりのある作家や文学	○渡辺政香の書籍①		○尾崎士郎記念館⑤ ◎尾崎士郎② ○尾崎士郎生家① ○尾崎士郎文学碑① ○人生劇場(小説)② ○尾崎士郎生誕地① ○尾崎士郎の書斎室① ◇茨城のり子		○外山滋比古著『裏窓の風景』①

凡例 ○：アンケート調査結果からの意見(丸数値はアンケートの意見数)、◇：ヒアリング調査結果からの意見、◎：アンケート、ヒアリングの両方から出た意見

注：表中の名称は、アンケートの表記をそのまま記しています。(別表現で重複するものや名称の誤り等もあります。)